

パブー

電子書籍コレクション

2012



パブーコンテスト
大賞受賞作品紹介

新たな才能が
発掘されました

いますぐ読める！
スタッフおすすめ作品

「スティーブズ」
「へんしん わごむくん」
「それっ！へんしんだ！」
「だから、人生っておもしろい」

2周年記念！ パブー大賞発表

今年一番売れたのはどの作品？

あの人もパブーを
つかってます！

パブー 2周年に寄せて



2010年6月22日に誕生したブックログのパブーが2周年を迎えました。
多くの作家、読者の皆様のおかげで今日を迎えることができました。
心より感謝申し上げます。

パブーは手軽に電子書籍を作成、販売・公開することができるインターネットサービスです。
「本」といえば紙の書籍が主流で「電子書籍」はまだまだ一般的とは言えない中、パブーはサービスを開始しました。
2年経った今でも電子書籍は自分には縁遠いもの、そう思われてる方も多いのではないのでしょうか。

「インターネットで本が作れるよ」

まるで、コンビニでお弁当チンできるよ～とでも言うくらいの感覚で、気軽に身近にお使いいただきたく、私たちはパブーを提供しています。肩の力を入れずに誰もが手軽にパブーで本を作り、読むことができます。

人知れずこっそり描いてた漫画、愛情たっぷりの秘伝レシピ、忘れられない旅の記録、子どもの頃の読者感想文など、誰もが世界にひとつしかないストーリーを持っています。
誰かのストーリーが他の誰かのココロを震わせたり、躍らせたり、温めたりするかもしれない。
プロじゃなくたって、たくさんの方が本を作ることができれば、たくさんのココロが動くかもしれない！そんな思いで私たちはパブーを作りました。

そして今では約25000もの作品が生まれ、多くの読者さんに楽しんでいただいています。

3年目を迎えたパブーが、より多くの方に「インターネットな本」をお楽しみいただけるよう、私たちもココロを込めてサービスを提供してまいります。

今後ともブックログのパブーをどうぞよろしくねの気持ちと共に、パブー第一作目として作った私たちのココロをここに添えてお礼の言葉とかえさせていただきます。



「クマク」の「ペーパー」



paperboy&co.♡



Puboo 

ゴローンゴロン ゴローンゴロン

あるひ、ハリネズミはいつものように、ひとりでクリごっこをしていました。

ゴローンゴロン ゴローンゴロン

そのひはとってもてんきがよかったので、

ハリネズミは、ついつい、まるまったまま、いねむりをしてしまいました。

そこに、クマのおじさんが通りかかりました。

「おお、こりやまた大きなクリだなあ」

おじさんはねむりこけたハリネズミをひろいあげ、

しょっていたカゴにぽーんと入れてしまいました。



おじさんのおうちにかえってくると、
いつものようにこどもたちがあそびにきていました。

「みんな、とってもおおきなクリをみつけたぞ」
ワイイ ワーイ
こどもたちはおじさんのまわりにあつまります。

「じゃあ、さっそくたべようね」



「わーーーー！
たべちゃいやだよ。
ぼくクリじゃないよ！」
あわてたハリネズミがとびだしました。



きゅうにうごきだしたハリネズミのトゲにおどろいたこどもたちは
おこりだしてしまいました。

「いたーい」「なんだこいつー」「あっちいけよー」

みんなのおおきなこえにハリネズミはもっとトゲをだして、
へやのすみっこでまるまりました。

「だ・・・だから
ボクはひとりでいるのが
すきなんだ・・・」



「なんだ、キミはハリネズミだったのか
ごめんよ。あまりにじょうずにクリのまねっこをしていたからまちがえてしまったよ。
さあ、こっちにおいで。キミもいっしょに本を読もうじゃないか」

そのやさしいこえに、ハリネズミはまるまったからだをゆっくり広げながら、
おじさんのおおきなほんだなをながめました。そしておどろきました。

「わー！こんなにたくさんのほん
ボク、みたことないや
これ、ぜんぶよんでいいの？」

「もちろんだよ。」



ハリネズミは、むちゅうでほんをよみました。

ひとりでほんをよんでいれば、ハリネズミはしあわせでした。

でも、とってもスイートなこいのものがたりや、
ぽかぽかしたかぞくのおはなしをよんだときは、
ちょっとさみしくて、なみだがでてきてしまいました。

「おじさん、どうしてほんをよむとなみだが出てくるんだろう」

「それはほんにはたくさんのココロがつまっているからだよ」

「こころ？それはボクにもあるの？」

「キミが、みんなをきずつけない、というきもちはココロだよ。
ココロは目には見えないから、たくさんの人が本にかくんだよ」

「ボクのココロもほんにかくことができるかな？」



ハリネズミはそのひから、いっしょうけんめい、ほんをかきました。
なんだかとってもワクワクしました。

ウサギさんのシッポを、ふわふわまるくてかわいいなとおもっていること。
くまくんがフンフンうたっているはなうたがとってもだいすきなこと。
おじさんのふかふかのおなかにエイッ！とダイビングしてみたいこと。

ほんとうは、みんなとなかよくあそびたいこと。

ハリネズミのほんのなかにはとってもたくさんのココロがこもっていました。



おうちのまえでおじさんがほんをよんでいると、
とってもひさしぶりにハリネズミがあらわれました。

ハリネズミはおじさんがみたことのないほんをもっていました。

「ボクのココロ伝わるかな？」

ほんをうけとったおじさんは、にっこりわらい、ゆっくりとページをめくりました。
ながいことおじさんはそのほんにむちゅうになりました。
ときに、おなかをかかえてわらい、ときに、しずかに、しずかに、なきました。

そして、ふうっとやさしいためいきをついたあと、
「さあ、みんなによんでおあげ」
とハリネズミにほんをわたしました。



ハリネズミがふりかえると、
もうソワソワしたこどもたちが、
ハリネズミのまわりにあつまってきました。





- 2周年記念！パプー大賞発表
- パプーコンテスト大賞受賞作品紹介
- あの人もパプーを使っています！
- 今すぐ読める！スタッフおすすめ作品
 - 『スティーブズ』
 - 『へんしんわごむくん』
 - 『それ！へんしんだ！』
 - 『だから、人生っておもしろい』

2周年記念！パブー大賞発表

パブーが2周年を迎え、この1年間にたくさんの読者さんに支持された作品を様々な部門でピックアップし、ご紹介します。

みなさんのお気に入りの一冊はこの中にあるでしょうか・・・！？



もっとも多く販売された作品は、この方の一冊！

年間ダウンロード数1位

当事者の時代

新書では未掲載の章「なぜゼロリスク幻想は生まれてきたのか」も掲載！

今この国のメディア言論がなぜ岐路に立たされているのかを、よりロジカルに分析できないだろうか---そういう問題意識がスタート地点にあった。つまりは「劣化論」ではなく、マスメディア言論が2000年代以降の時代状況に追いつけなくなっていることを、構造的に解き明かそうと考えたのである...



[佐々木俊尚](#)



アップデートされる度に売れ続ける！

ロングセラー大賞

iOSの教科書

電子書籍ならではの！iOSのアップデートの度に内容も加筆訂正され、その度売れ続けています。

日本初、世界初（おそらく）iOS 5とXcode 4.3、OS X Lionに完全対応！書籍内容はもちろんのこと、書籍自体もRetinaディスプレイに対応しているのので、細かな図版まで読み取れるほど精彩な表示でお読みいただけます。「iOSの教科書」は、iOSアプリの作り方を学ぶ実践的な入門書です。



[赤松正行](#)



ブックログユーザーからの支持ナンバーワン！

ブックログ本棚登録数1位

エブリデイ・マイレシピ

「仕事に趣味に友達付き合い。
一人暮らしはそれなりに忙しい。
時間をかけて100点満点の味よりも
今は短い時間で60点の味がいい。」
一人暮らしの簡単レシピ



[イトウ](#)



コミック部門

[放射線の正しい測り方](#)

ガイガーカウンターは、専門的な分野の特殊な機械なので、扱いがとても難しいものです。正しい位置で正しい測り方をしないと、正しい数値が測れません。2011年6月11日、GCM（ガイガーカウンターミーティング）で野尻美保子先生の行った説明を、鈴木みそが漫画化したものです。



[鈴木みそ](#)



ジャンル別人気作品

ファンタジー部門

[BOX-AiR 06号 パブー版](#)

電子書籍AiR、講談社BOX、スターチャイルドによるまったく新しい月刊電子雑誌の第6号。今回のテーマは「シークレットラブ」！光速のデビュー、書籍化、アニメ化の3つの実現を射程にエンタメ界に革命を起こします!!“アニメに一番近い新人賞”受賞作を毎月掲載！



[講談社BOX-AiR](#)



ジャンル別人気作品

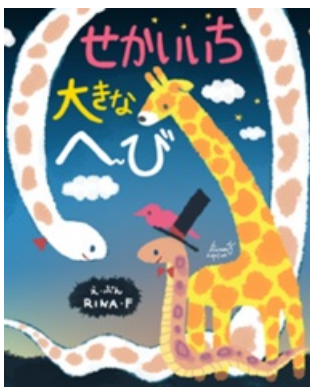
文芸部門

[月の裏で逢いましょう 2～彗星の乾いた悲鳴～](#)

『月の裏で逢いましょう』の続き本です。ページが増えたので2冊目作りました。相変わらず自由に想いのまま不思議な感覚で綴り続けています☆ ☆覗いてくれて ありがとう。感じたままコメント下されば幸せです☆ ☆



[弥馬都 YAMATO](#)



ジャンル別人気作品

絵本部門

[せかいいち大きなへび](#)

生まれたてのリボンへびの赤ちゃん、ナチとそのお父さんのお話です。



[rina](#)



ジャンル別人気作品

写真部門

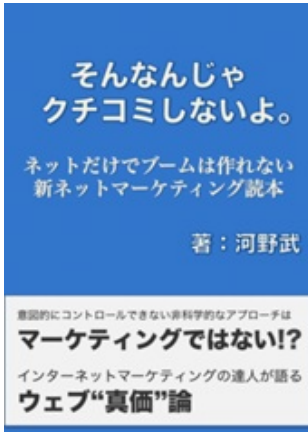
[GR DIGITALで撮影する星景写真入門 比較明合成による固定撮影編](#)



星空のある風景写真をコンデジで写そう！ 比較明合成という画像処理を使えば、星の軌跡をかんたんに撮影できます。星が見えない明るい都会の空でも、カメラのレンズを通すと星々が写真上に輝きます。お気に入りの風景といっしょに、星空をどこからでも手軽に撮影できるようになります。



[itoiji](#)



ジャンル別人気作品

ビジネス書部門

電書版・そんなんじゃクチコミしないよ。

2008年に技術評論社から出版された『そんなんじゃクチコミしないよ。』の電書版です。少しだけですが加筆修正もしています。いま読み返しても楽しめる本ですので、ぜひ読んでみてください！



[河野武](#)

2年目のパブーが開催したコンテストの受賞作品を紹介します



[サイバラ海賊版コンテスト](#)

[『逆風の青空』](#)

漫画家・西原理恵子さんの著作物（キャラクター・作品・世界観など）をトリビュートした作品を募集したコンテスト大賞作品。

西原マンガに出てくるセリフと作家自身が撮った写真を組み合わせるといった新しい形のトリビュート作品



[hyugaya](#)



[第2回 絵本コンテスト](#)

[『へんしん わごむくん』](#)

作家発掘プロジェクト第3弾！

パブーで制作されたオリジナル絵本コンテスト大賞作品

「まいど、わごむくんです。

おれ、わごむやからいろんなものにへんしんできるねん。

いっぺんよんでみてや〜。」



[小坂タイチ](#)



[第1回 エッセイコンテスト](#)

[『だから、人生っておもしろい』](#)

作家発掘プロジェクト第4弾！

『私に影響を与えた1冊』をテーマとしたエッセイコンテスト大賞作品

「人生に影響を与えた一冊。赤毛のアンという物語と、アンが私に与えたメッセージを 過去を振り返りながら紹介します。

アンが教えてくれる想像力の余地。

どれだけ世界が、キラキラ見えるか。

アンと一緒に、美しい世界を見つけにいこう。」



[田舞アン](#)

あの人もパブーをつかっています！

プロの作家さんなど多方面でご活躍のあの方々にパブーをご利用いただいています。

漫画家

[ひうらさとるさん](#)



漫画家のひうらさとるです。東日本大震災で被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。80～90年代のひうらまんがを5タイトル公開いたします。オールチャリティとなります。

[とだ勝之さん](#)



打ち切り決定から増刷されるまでの奇跡の軌跡を描いた「ホームセンターてんこ増刷への道」とその続編などを配信中です。

[内田春菊さん](#)



小さなメロンパンやごぼうのかりんとうなど秘伝のレシピを収録したレシピ漫画、オールカラーのゴスロリ漫画『片つむり』、キュートなmanmaと一緒に愛と性を考える『ロマンチック娘manma』などを配信中。

[うめ（小沢高広／妹尾朝子）さん](#)



Kindle初日本語マンガ『青空ファインダーロック』や『東京トイボックス』、アップルを作った、二人のスティーブの物語『スティーブズ』などを配信中です。

[青木俊直さん](#)



漫画を生業にしています。連載中「くるみのき！」（新潮社@バンチ2011年5月号より連載開始）「@ポチ」（新潮社@バンチWebサイト）「スリーピース」（朝日新聞出版「シンカン」）その他読み切りなど

[イシデ電さん](#)



イシデ電。漫画かき。「月光橋はつこい銀座」「私という猫」（幻冬舎）「リアルワールド」（原作：桐野夏生、小学館）発売中。紙の漫画が大好きです。

[鈴木みそさん](#)



1963年静岡県下田市出身。美術予備校時代から、編集プロダクションのライターとして雑誌作りに関わる。ゲーム雑誌などで、ゲーム攻略、記事、コラム、イラスト、を

こなす。



[高口里純さん](#)

Charaで連載されていた『PINK』の番外編などを配信中です。



[桜野みねねさん](#)

月刊コミックブレイドで「星の大サーカス」隔月連載中です。東北大震災チャリティー漫画執筆中です。無料や有料のものをコソコソッとUPできたらいいなと思っております。よろしくお願いします。



[須賀原洋行さん](#)

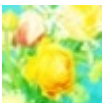
竹書房「本当にあったゆかいな話」で『实在ニョーボよしえサン日記』、「まんがズキュン」で『实在ガキンちょ日記』、中日新聞で『真剣10代さぼり場』を連載中。代表作は『気分は形而上』『よしえサン』など。



[佐藤秀峰/佐藤漫画製作所さん](#)

簡単にオンラインブックを作成、配信できる「漫画 on Web」の運営をしています。1973年 12月8日生まれ 北海道出身 有限会社佐藤漫画製作所 代表代表作 「海猿」「ブラックジャックによろしく」など...

作家／デザイナー



[井上のきあさん](#)

『チロリアンテープで作るカメラストラップ』や、デザイン集「アトリエ」で作る消しゴムはんこ・マスキングテープなどを配信中です。twitterID:yue9



[中山智幸さん](#)

兼業作家です。『さりぎわの歩き方』『空で歌う』『ありったけの話』の三冊のほか、文芸誌にぼちぼちと作品を発表しています。著書の詳細はブックログを参照してください。◎読んでいただいた皆さま、ありがとうございます...



[倉田タカシさん](#)

創元SF文庫「量子回廊」、河出文庫「NOVA2」に掲載いただきました。イラストレーター、マンガ家、文筆業、ウェブ製作など。ほのぼのコンサルまんが「お困りでしたら」 (<http://enterprisez...>)



[英田サキさん](#)

英田サキです。BL（ボーイズラブ）を書いています。

雑誌

[BOX-AiRさん](#)



「BOX-AiR」は、西尾維新氏の「化物語」シリーズなどで知られる講談社BOXと、各界の著名なクリエイターが個人として集まり作り上げられた電子書籍「AiR」、そして「新世紀エヴァンゲリオン」など多数の...

[spoon.さん](#)



「かわいい！」と、ときめく心をいつまでも変わらずに持ち続ける人に向けたファッション&カルチャー情報マガジン「spoon.」の、インタビューの電子書籍などを掲載しています。

著名人

[増田セバスチャンさん](#)



1994年まで前衛演劇・現代美術の世界で活動後、1995年に表現の場としてのショップ「6%DOKIDOKI」を原宿にオープン。2005年以降、ジャンルを超えた自由な発想の舞台表現「Visual Sh...

[塔の上のラプンツェル記念インタビューさん](#)



ディズニー50周年記念作品『塔の上のラプンツェル』。ラプンツェルの日本語キャストとして選ばれたのは、大のディズニー好きで知られるしょこたんこと中川翔子さん。今回はその中川翔子さんに、『塔の上のラプンツェル』の魅力と、ご自身の夢や日常について語っていただきました。

いますぐ読める！スタッフおすすめ作品

次ページから、作品のサンプルをお読みいただけます！





Steves

ステイブズ

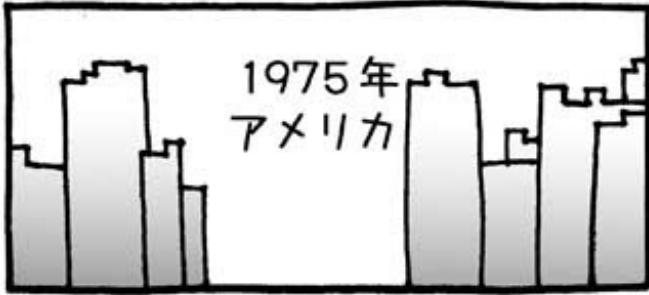
原作 ma2

漫画 うめ

小沢高広 綾尾朝子

この漫画はフィクションです。
実在の人物、団体、事件には
一切関係ありません。

なお一般的な日本の漫画と異なり
本作は横書きのため、
左から右に読み進めます。









ほほう
すると...



おぼっちゃま方の
すばらしい道楽に
つき合おうと

わが社もおこぼれに
あずかるとそういう
ありがたい話ですな









DRAMを
持ってこい

オレたちの革命に
ちょっとした貢献を
させてやる









こんなチャンスは二度とない



世界を変えるんだよ

オレたちがな!!

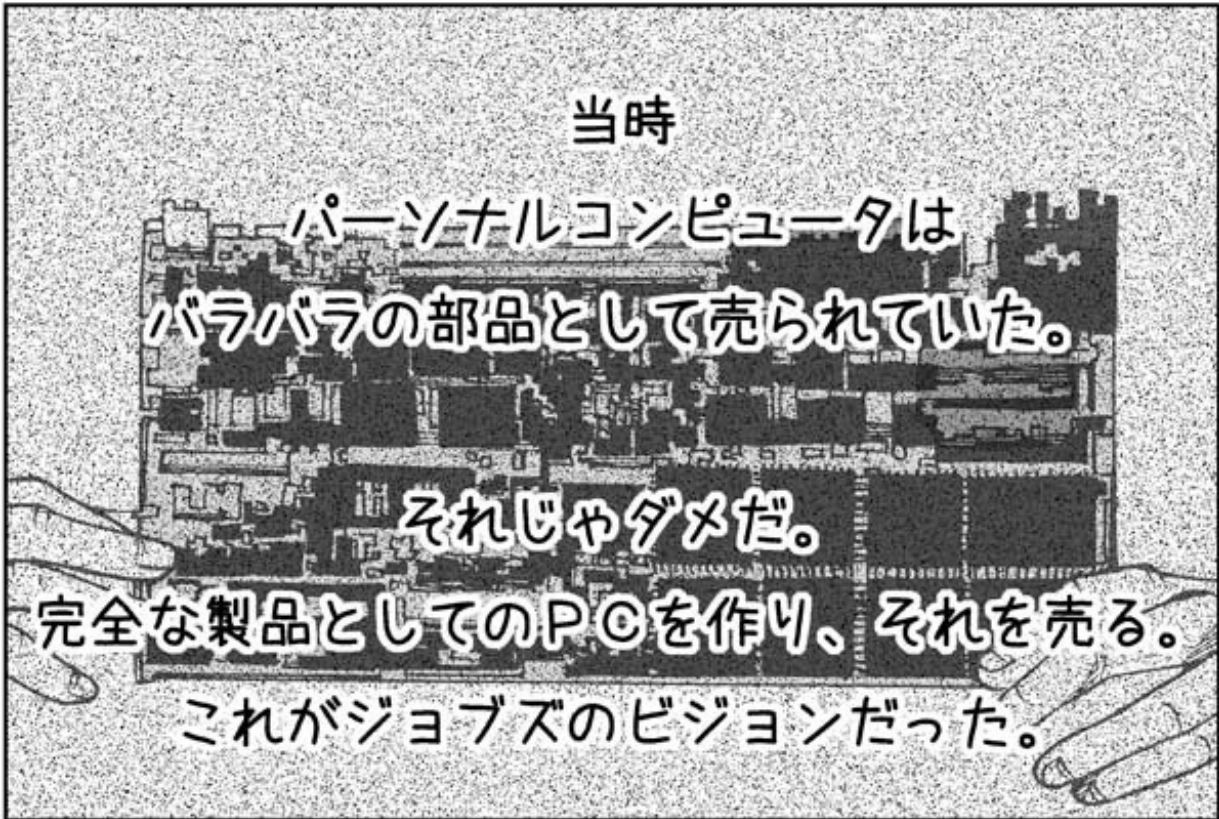
当時

パーソナルコンピュータは
バラバラの部品として売られていた。

それじゃダメだ。

完全な製品としてのPCを作り、それを売る。

これがジョブズのビジョンだった。



ウォズが入力装置としてキーボード
出力としてテレビをつなげるようにしたことが

彼にインスピレーションを与えた。

VIDEO INITIATIVE

パーソナルコンピュータとは、

性能や機能ではなく
世界と人の関わり合いなのだ。



to be continued!!

奥 付

原作 ma2 『地平線の先まで見る目がありながら
行く方法を知らない』

漫画 うめ (小沢高広+妹尾朝子)

発行 2010年4月15日(iPhone版)

2011年6月16日(Puboo版)

うめ

小沢高広・妹尾朝子からなる二人組漫画家。

2001年『ちゃぶだい』にて、第39回ちばてつや賞大賞を受賞。

2010年には、Kindleにて世界初日本語漫画『青空ファインダーロック』の出版を行う。

代表作『大東京トイボックス』は、マンガ大賞2012で15作品中第2位。

新作は、沖縄の離島を舞台にしてるのに、エコもロハスも出てこない日常系冒険活劇『南国トムソーヤ』(第1巻2012/7/9発売)

公式サイト『難民チャンプ』<http://chabuduai.com>

ma2

Rails使うエンジニア。電子書籍配信サーバも(趣味で)書きました。

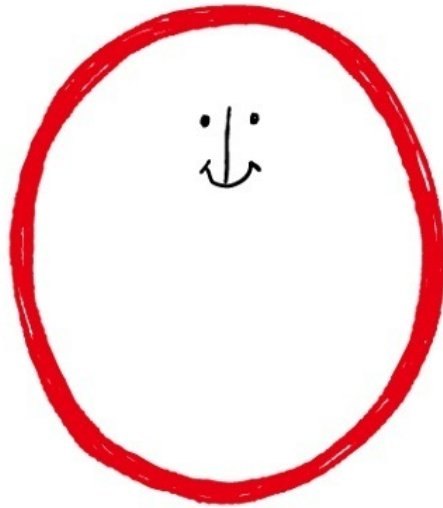
二児の父。新しいもの、Ruby(とその他の言語)、SF(とその他の書籍)、生きてるジョブズが好き。

Twitter: @ma2


へんしん

リニューアル
+
しんさく
(ぜん10わ)

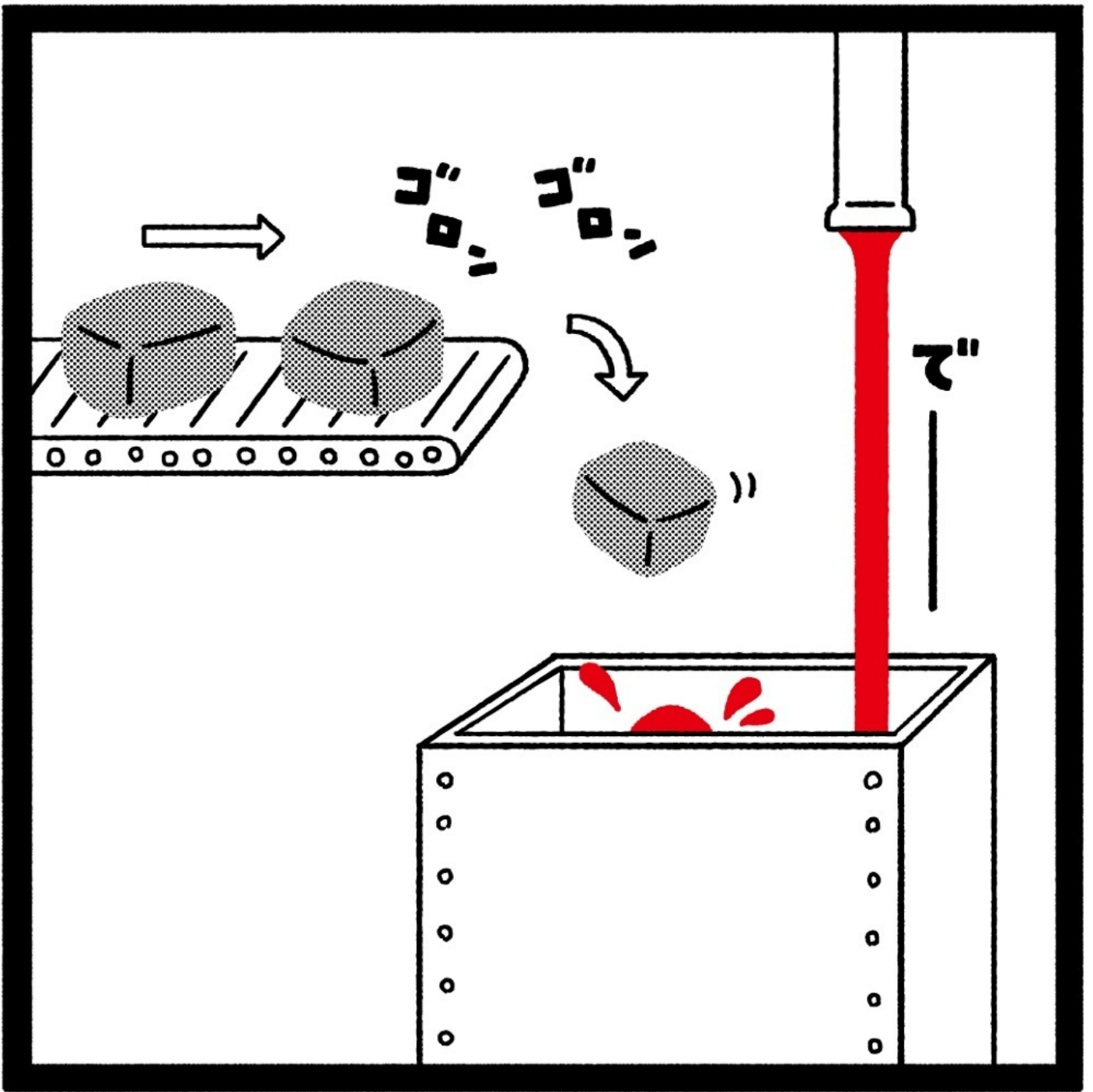
わ ⁰⁰ ゴ ⁰⁰ むくん

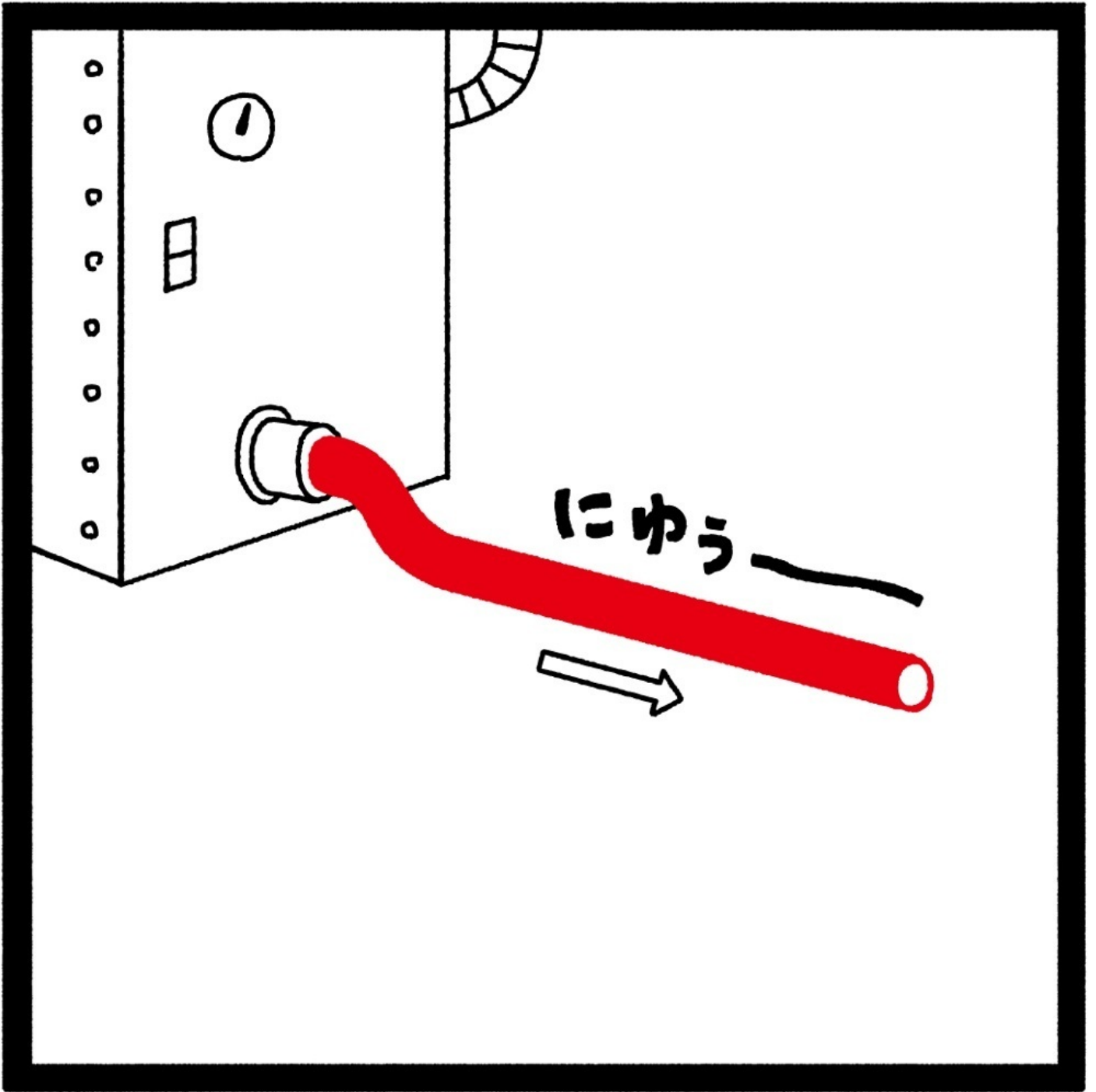


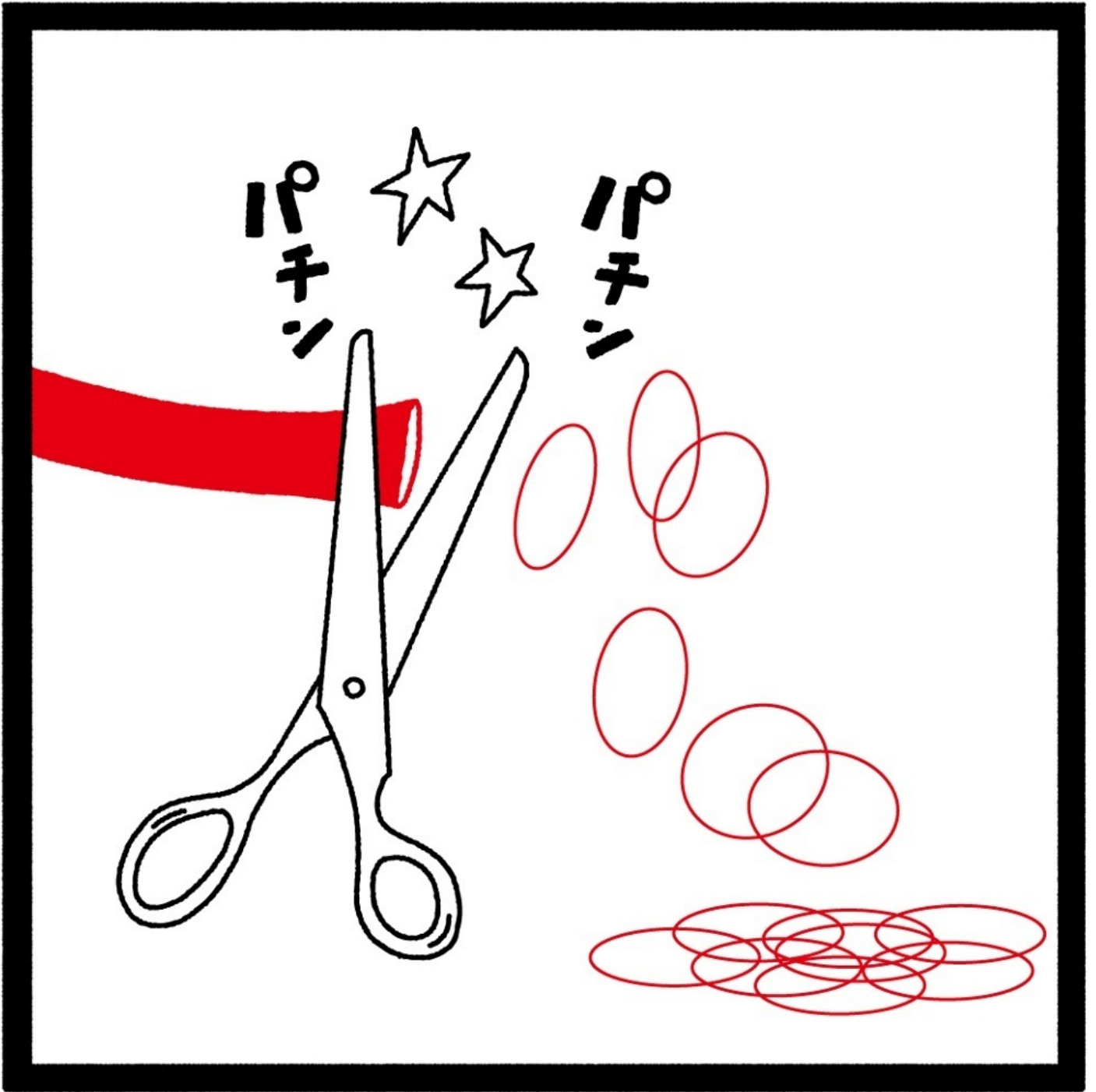
さく・え こそかたいち

だい  わ

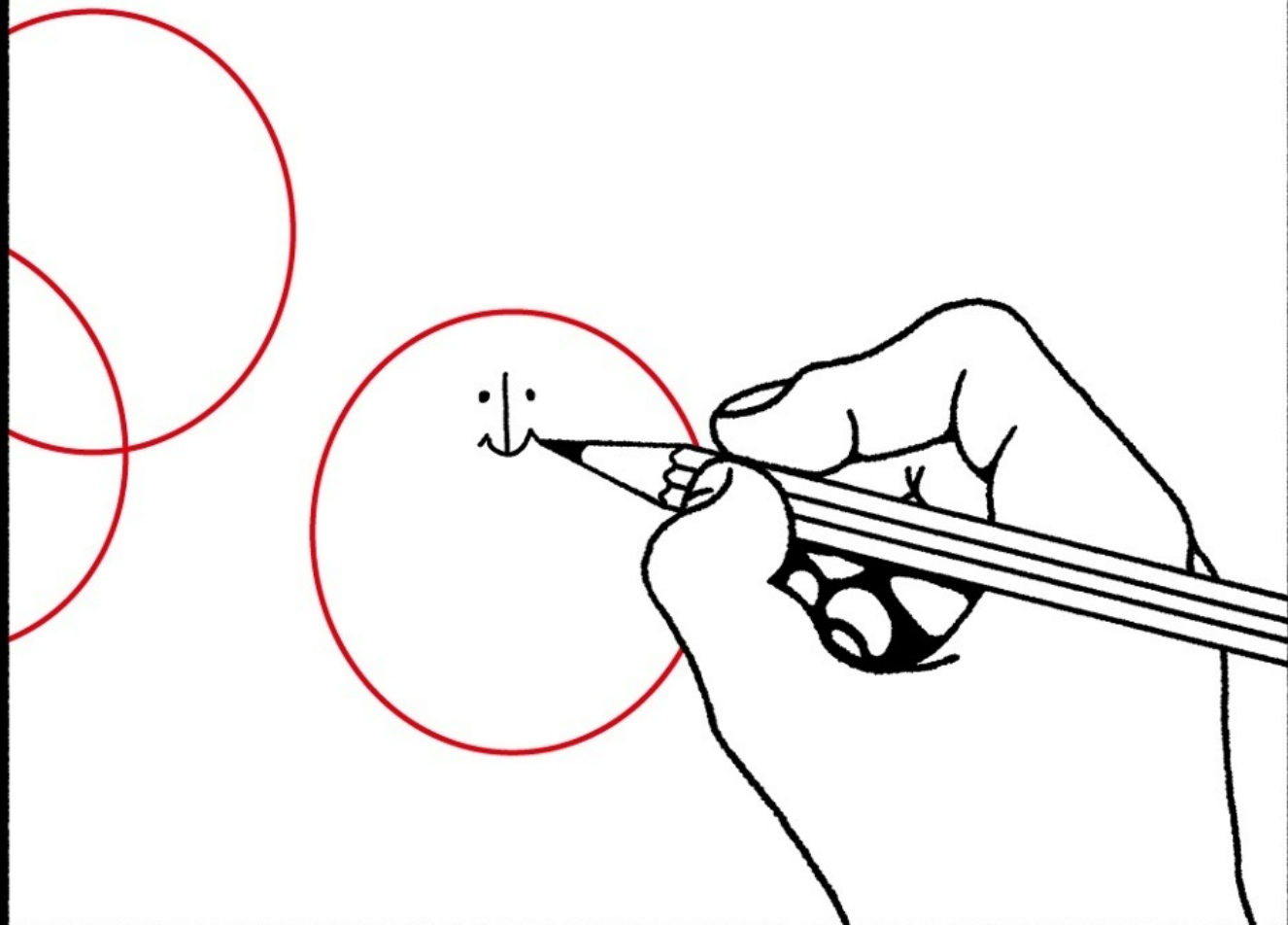
わごむくん たんじょう








まいど!
わごむくんです。



だい  わ

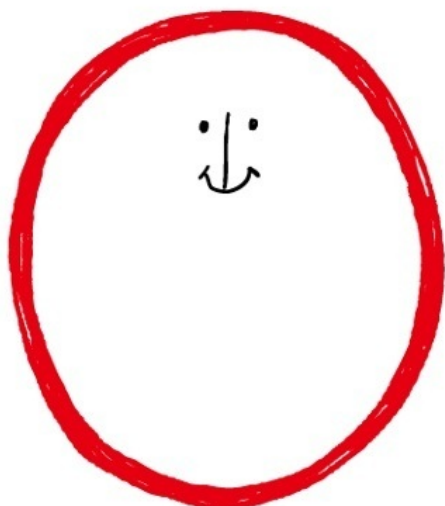
わごむくん ねこにおそわれる

まいど!
わごむくんです。

おれ、わごむやから
いろんなものに
へんしんできるねんで。



〃〃



〃〃

〃〃〃

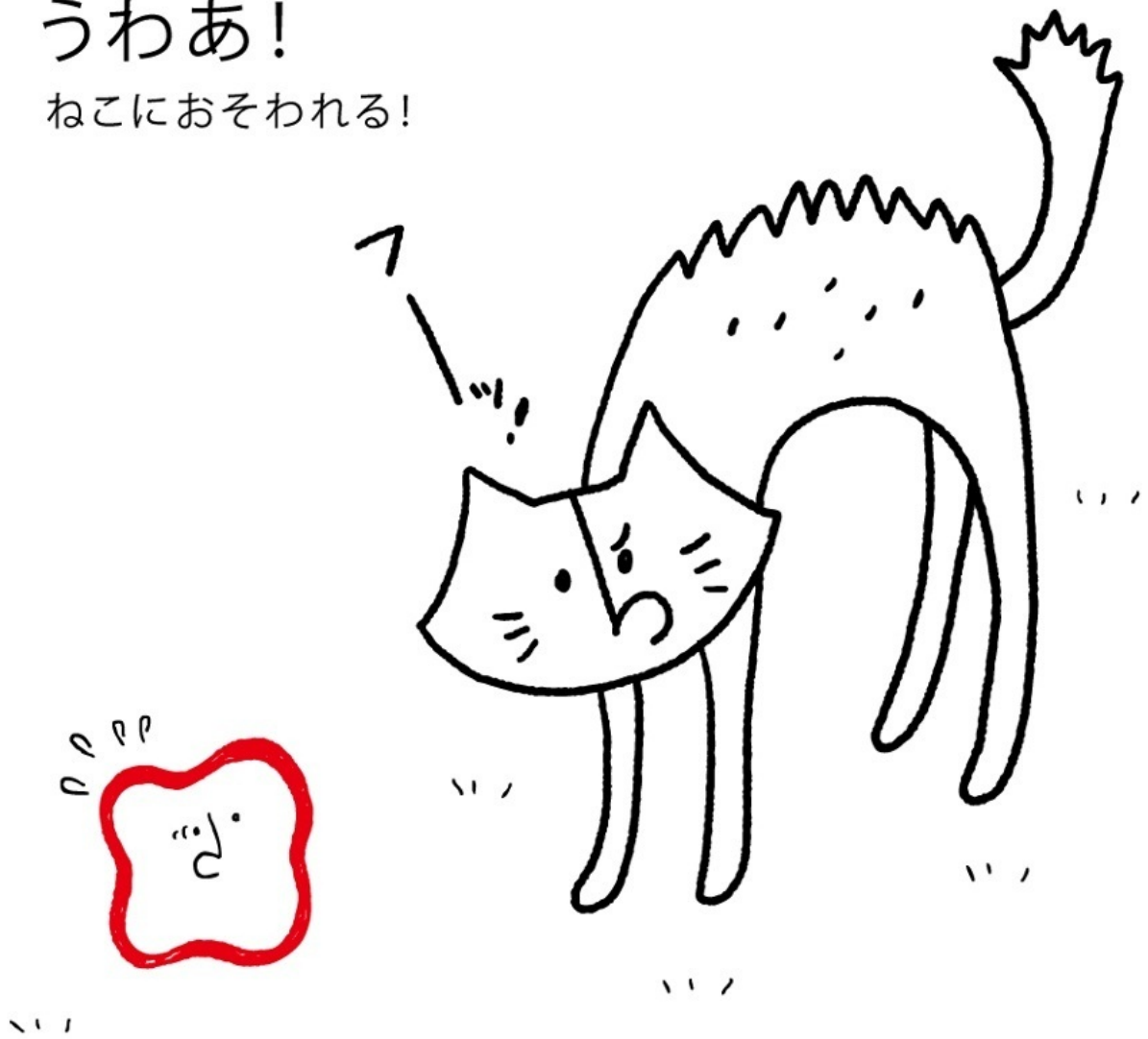
〃〃

〃〃〃

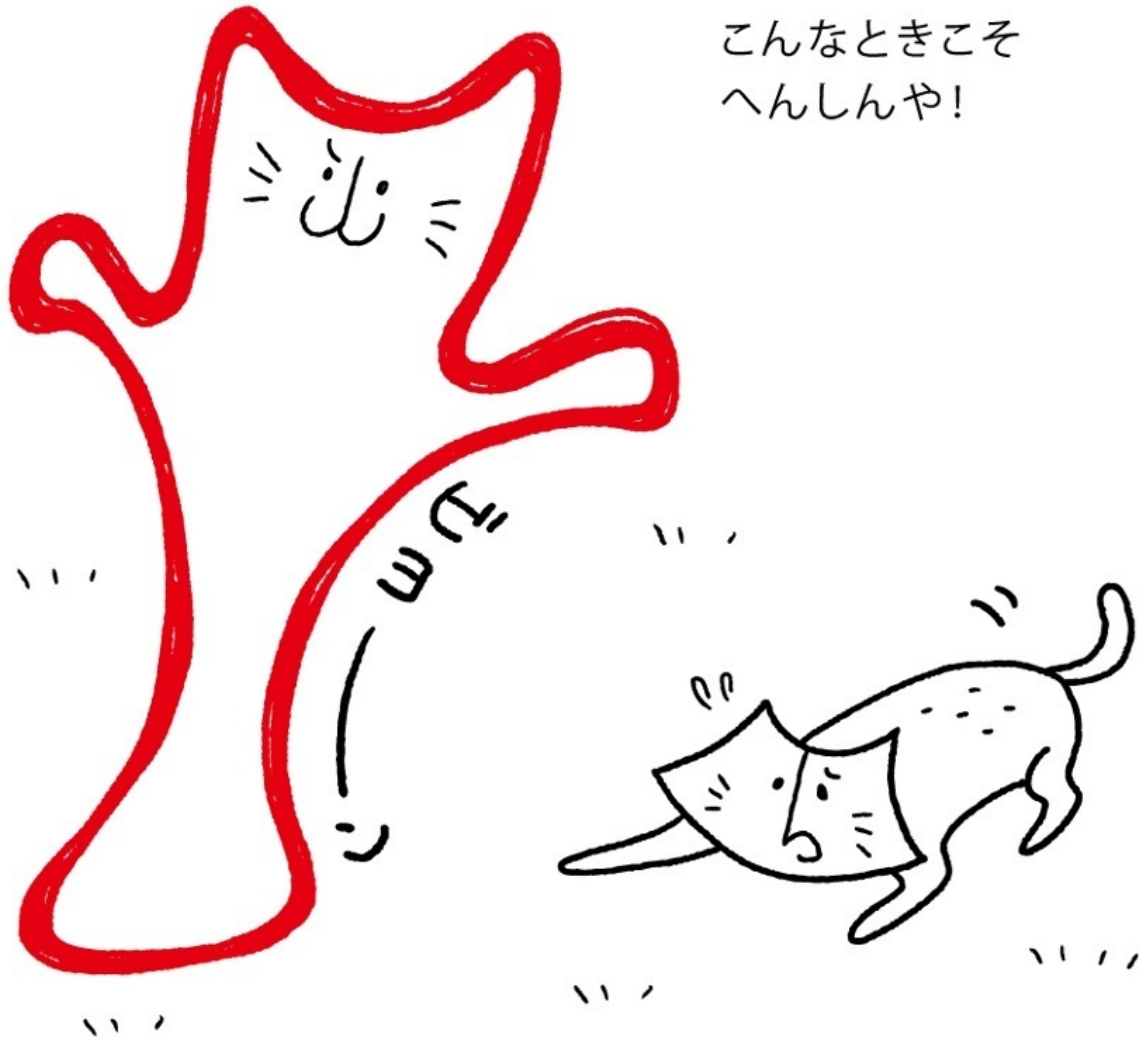
〃〃

うわあ!

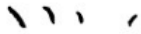
ねこにおそわれる!



でもだいじょうぶ。
こんなときこそ
へんしんや!



ほっ。
たすかったで。





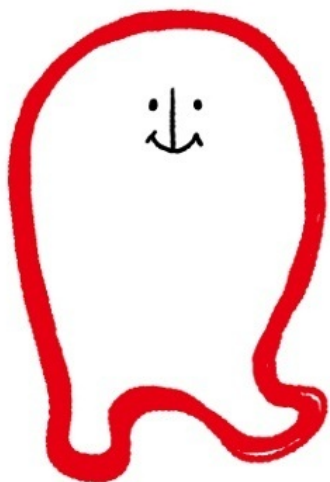
だい お わ

わごむくんのホームラン

まいど!
わごむくんです。



ワブーがちかくで
やきゅうのしあいをしてるらしいから
おうえんしにいくねん。



〃

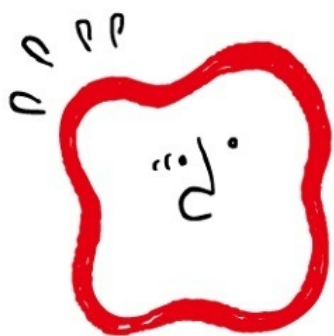
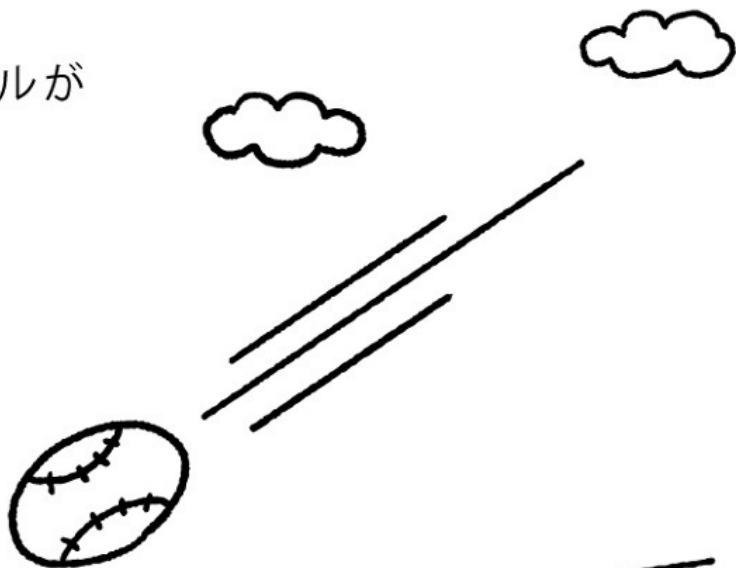
〃

〃

〃

〃

なんやいきなりボールが
とんできたがな!



わごむくんあぶない!

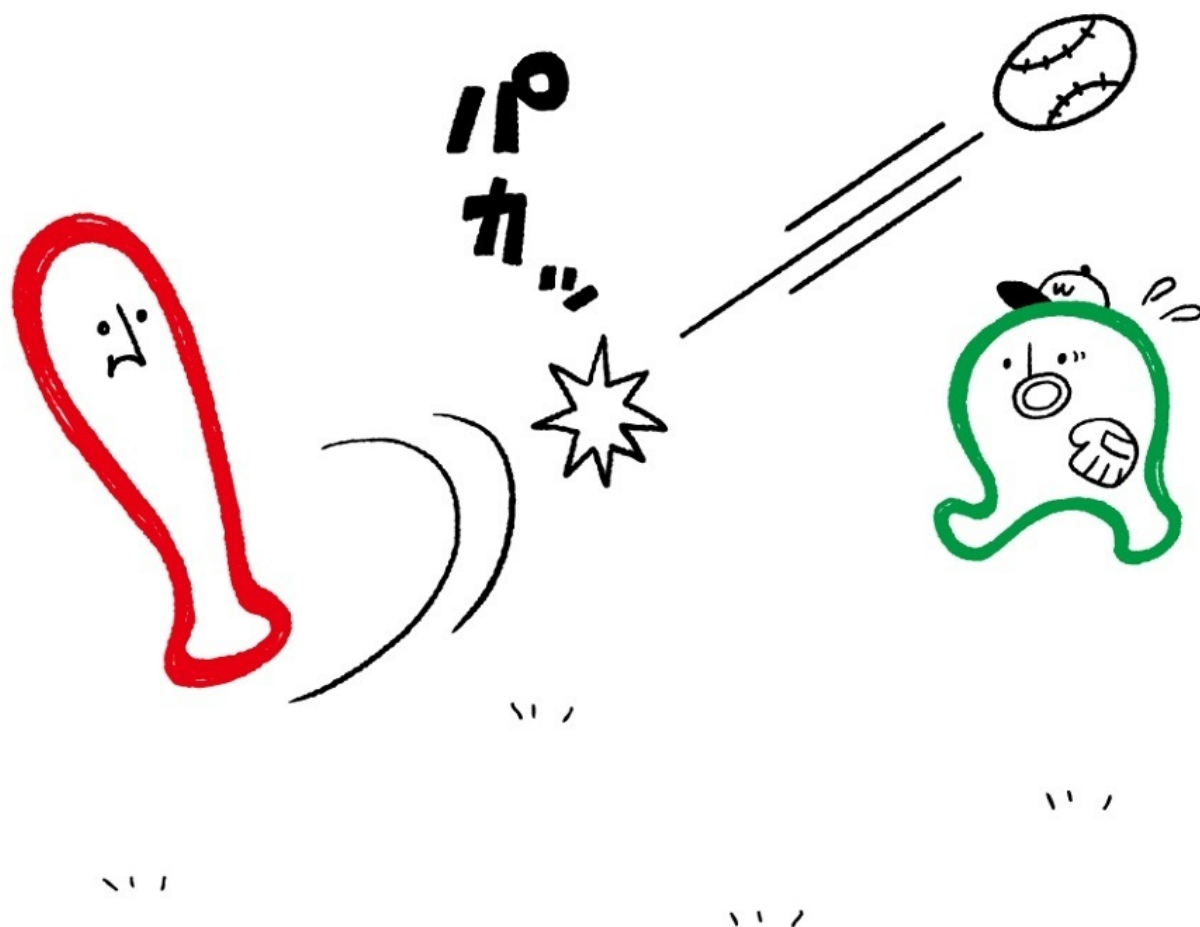
〃

〃

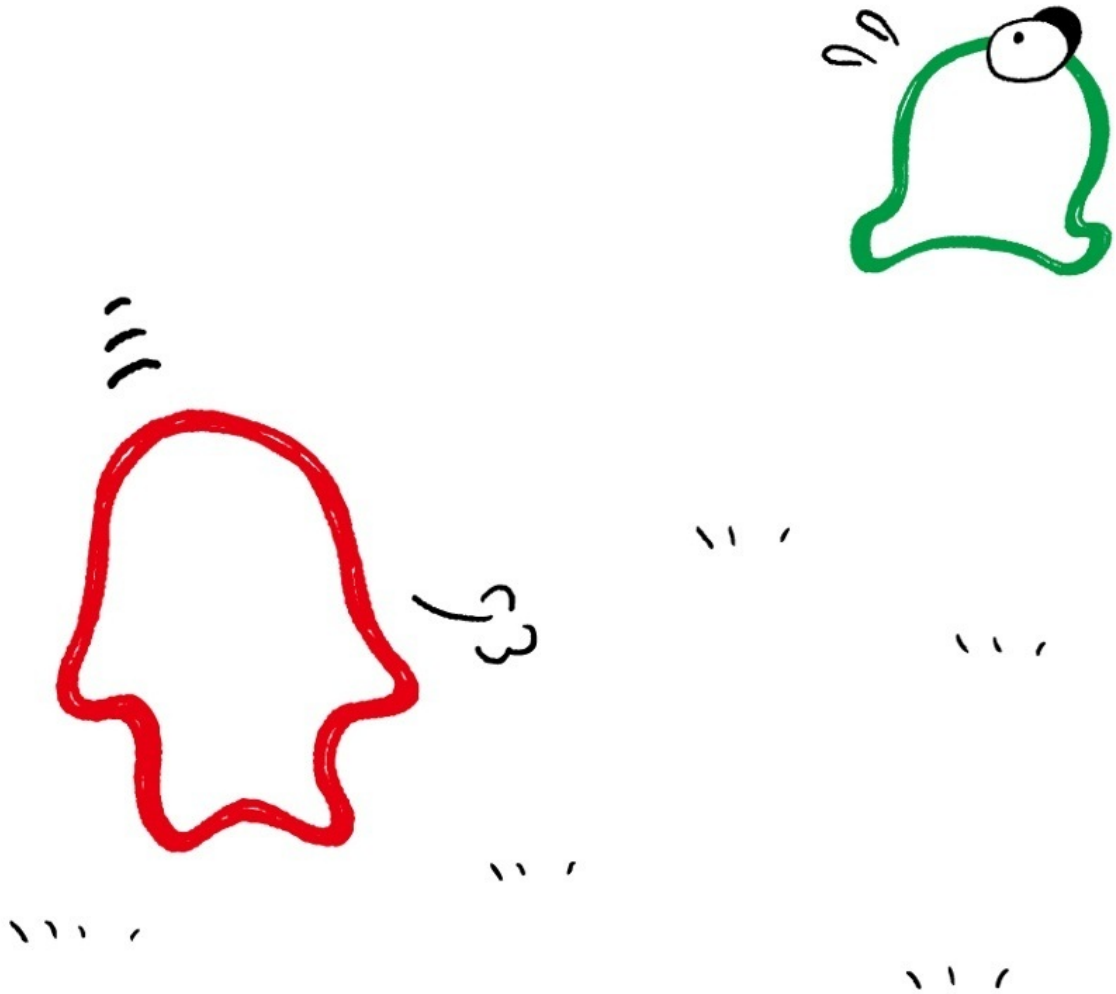
〃

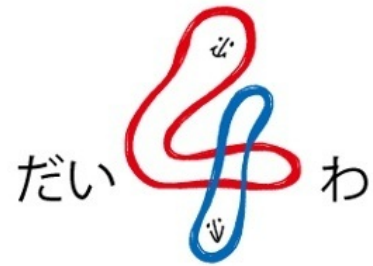
〃

でもだいじょうぶ。
こんなときこそへんしんや!



ホームランやな。

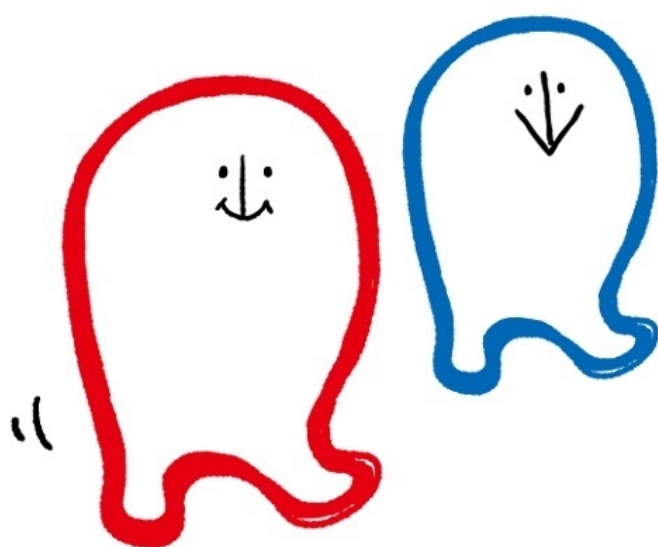




わごむくんのかわわたり

まいど!
わごむくんです。

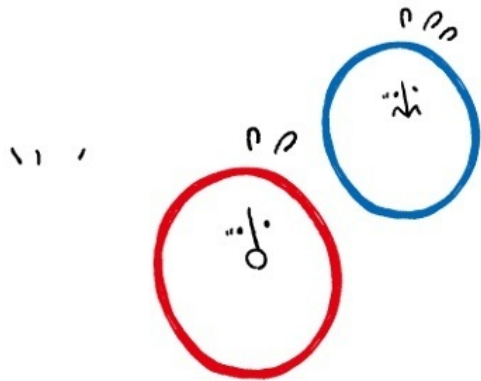
こいつはおとうとの
ワゴローです。



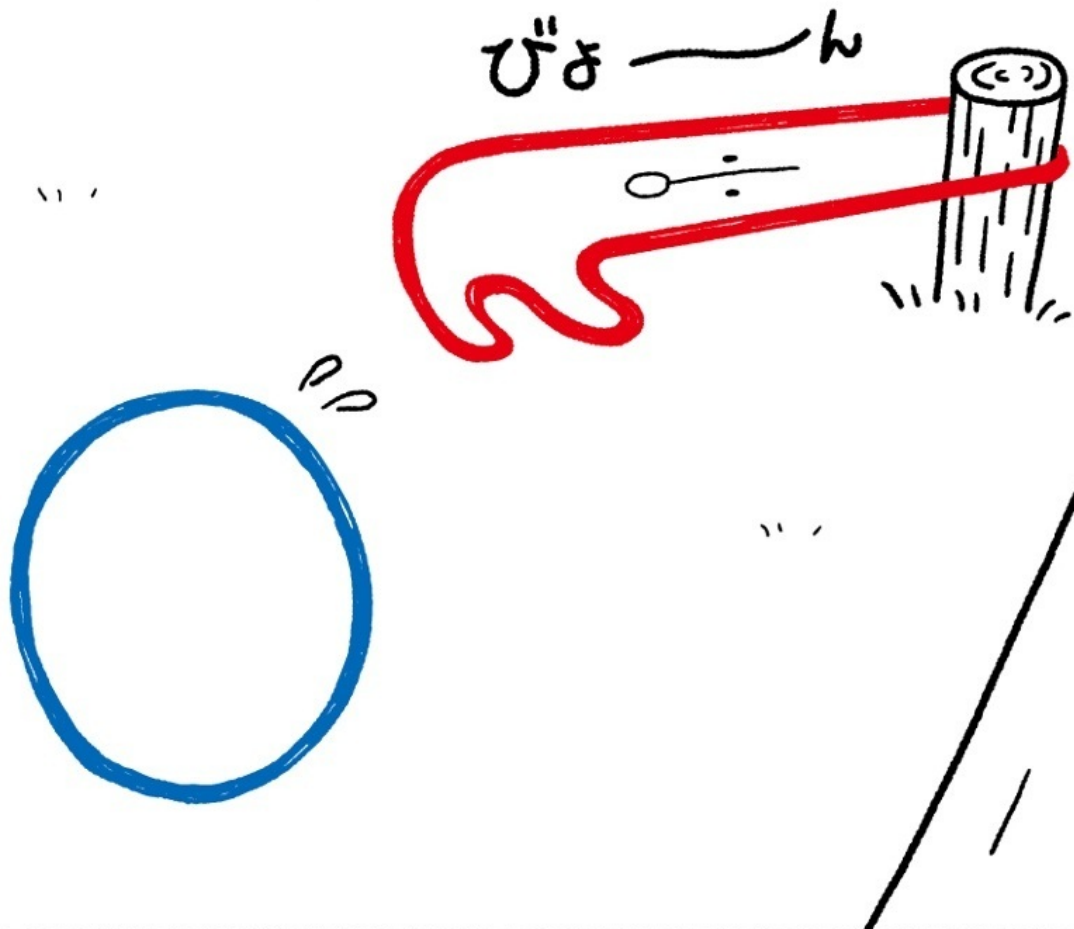
サ

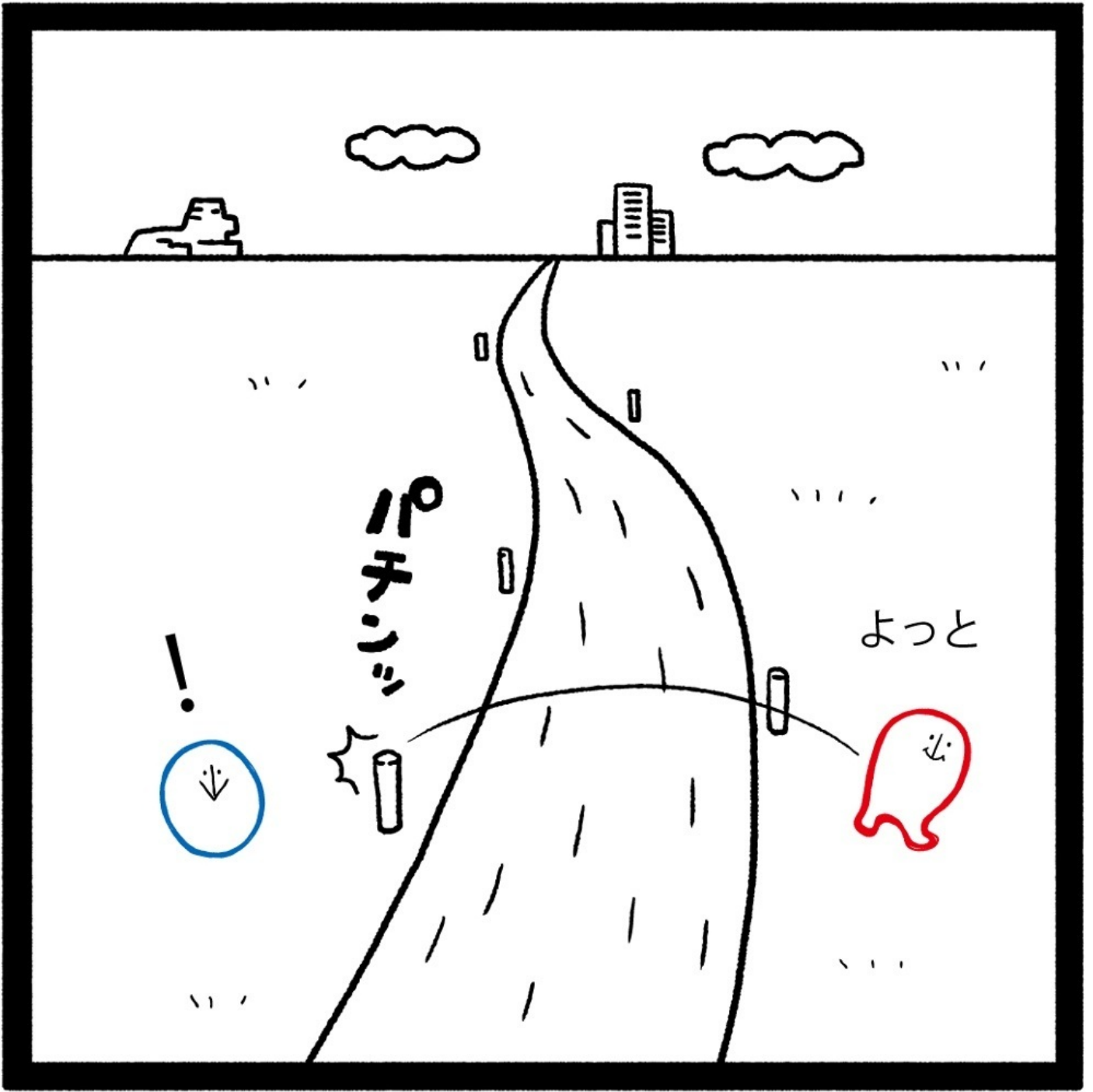


わあ、
おにいちゃん
おっきいかわや!
どうやってわたるん!?



よっしゃ、みときや!
こうやってわたるんや。



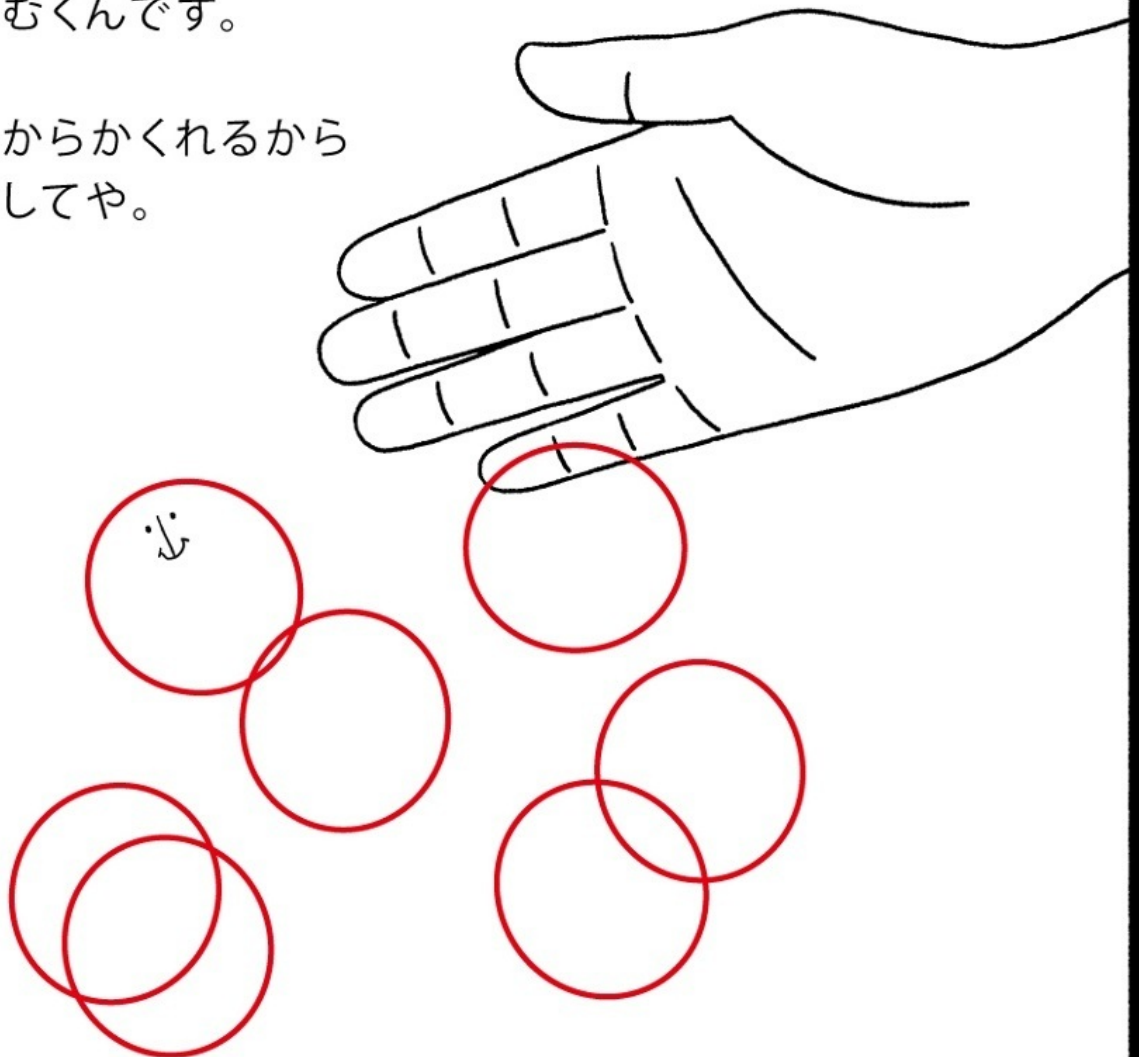


だい  わ

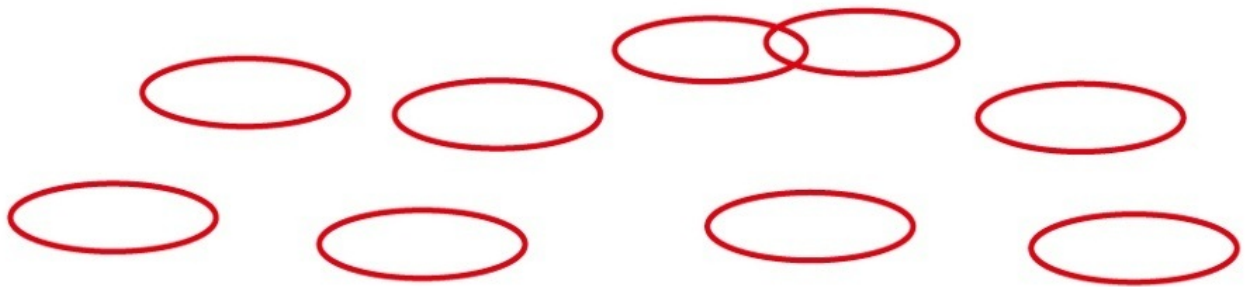
わごむくのかくれんぼ

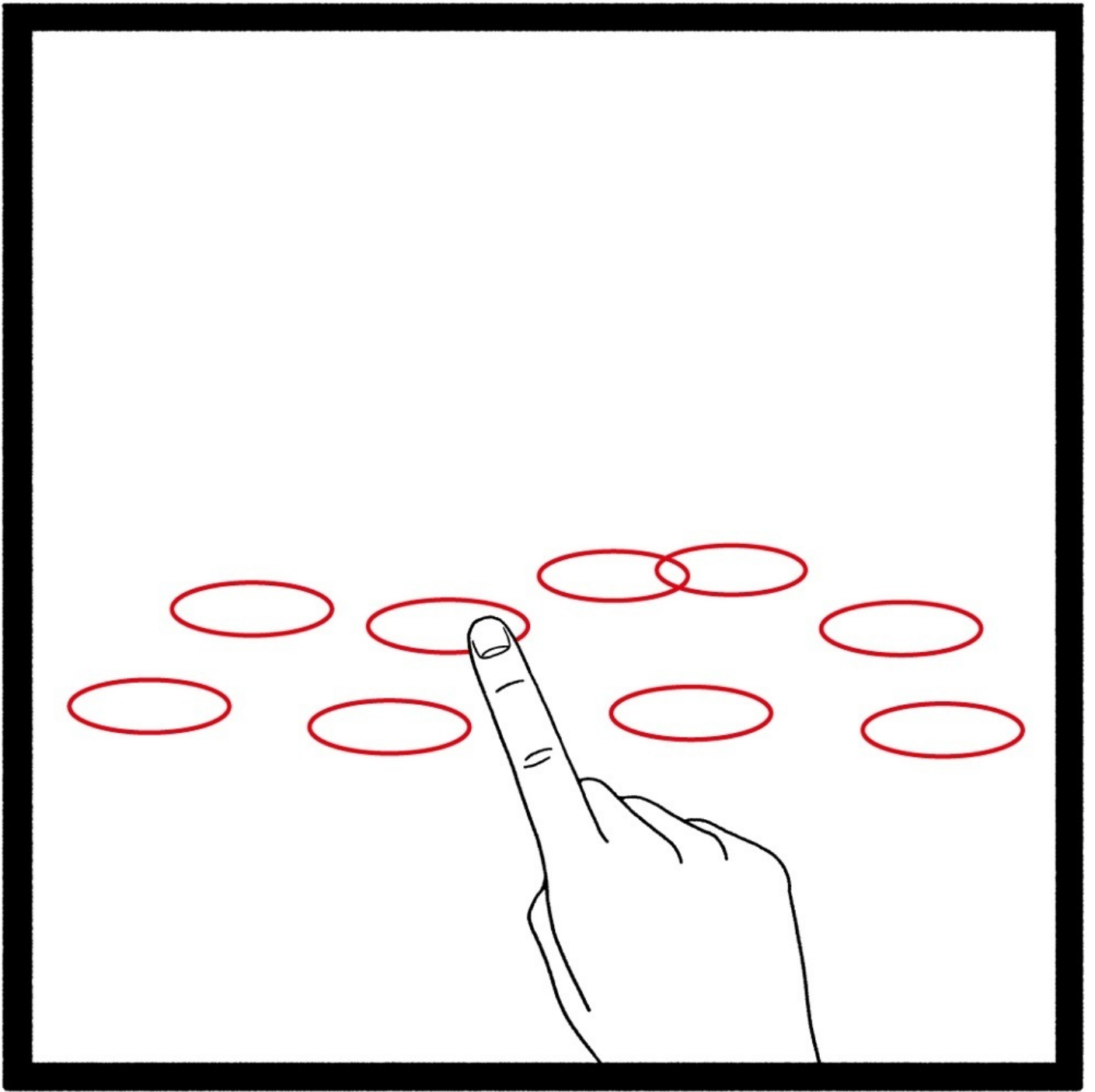
まいど!
わごむんです。

いまからかくれるから
さがしてや。

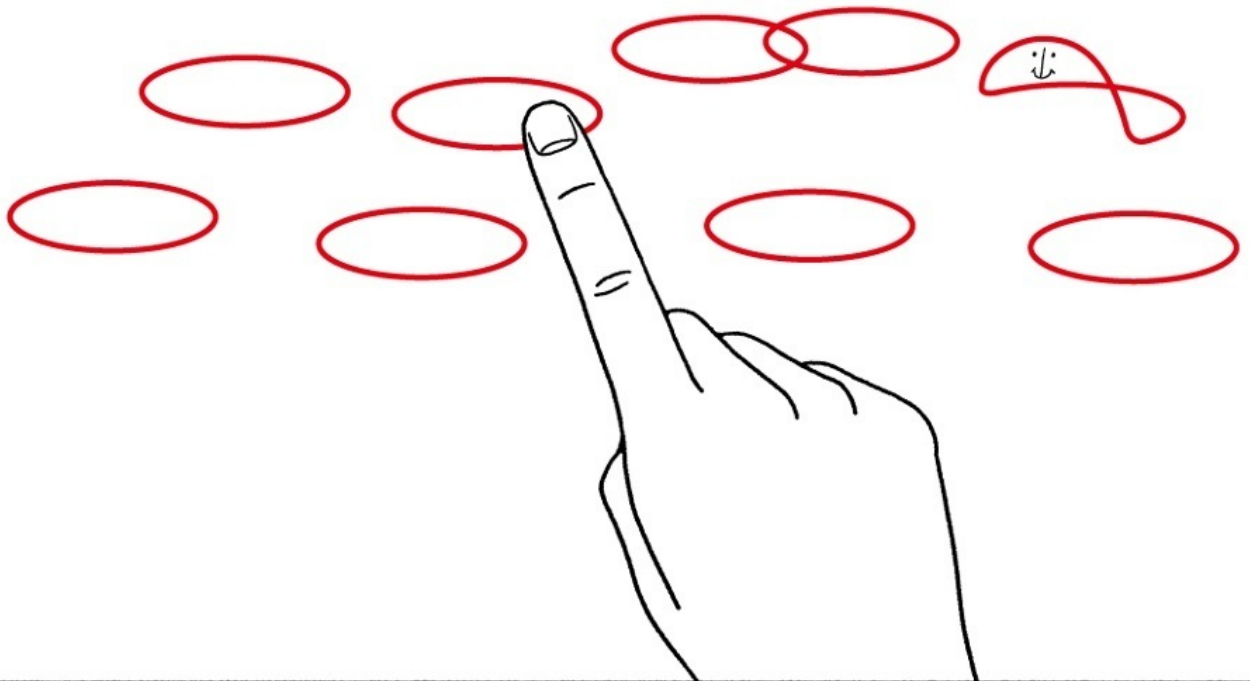


さー、どこやおもう？





ここや。

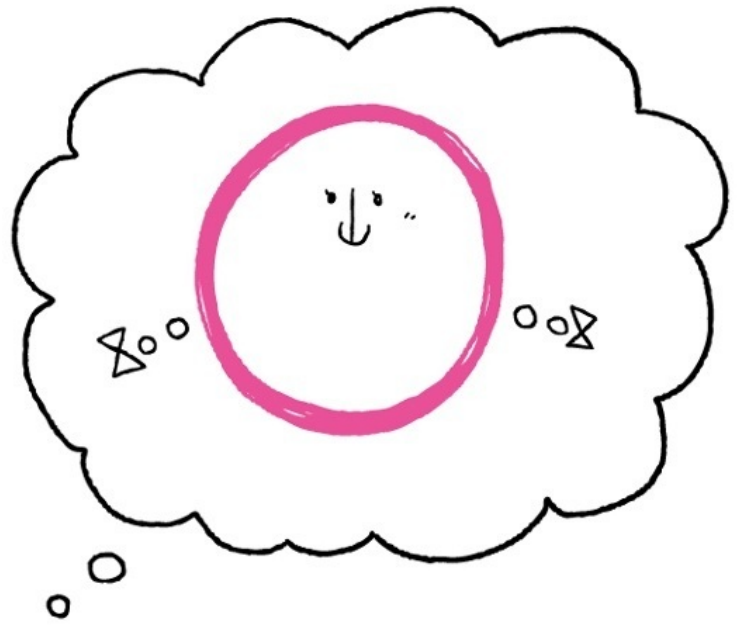


だ い め わ

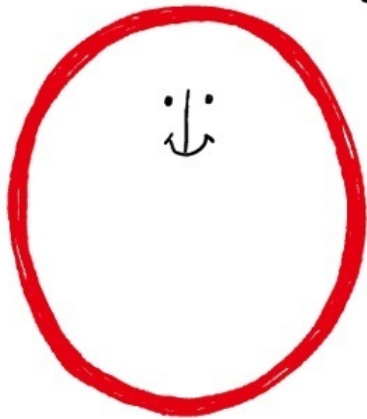
わごむくんのプレゼント

まいど!
わごむくんです。

きょうはワミーの
たんじょうびやねん。



...



...

...

...

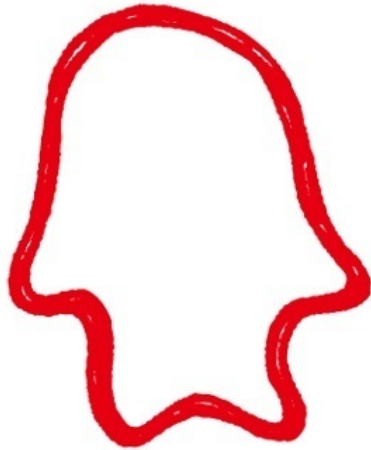
...



お!ワミーがきた!
ちょっと
びっくりさせよか。



...



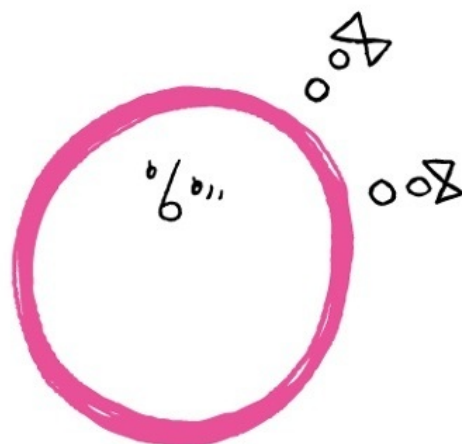
...

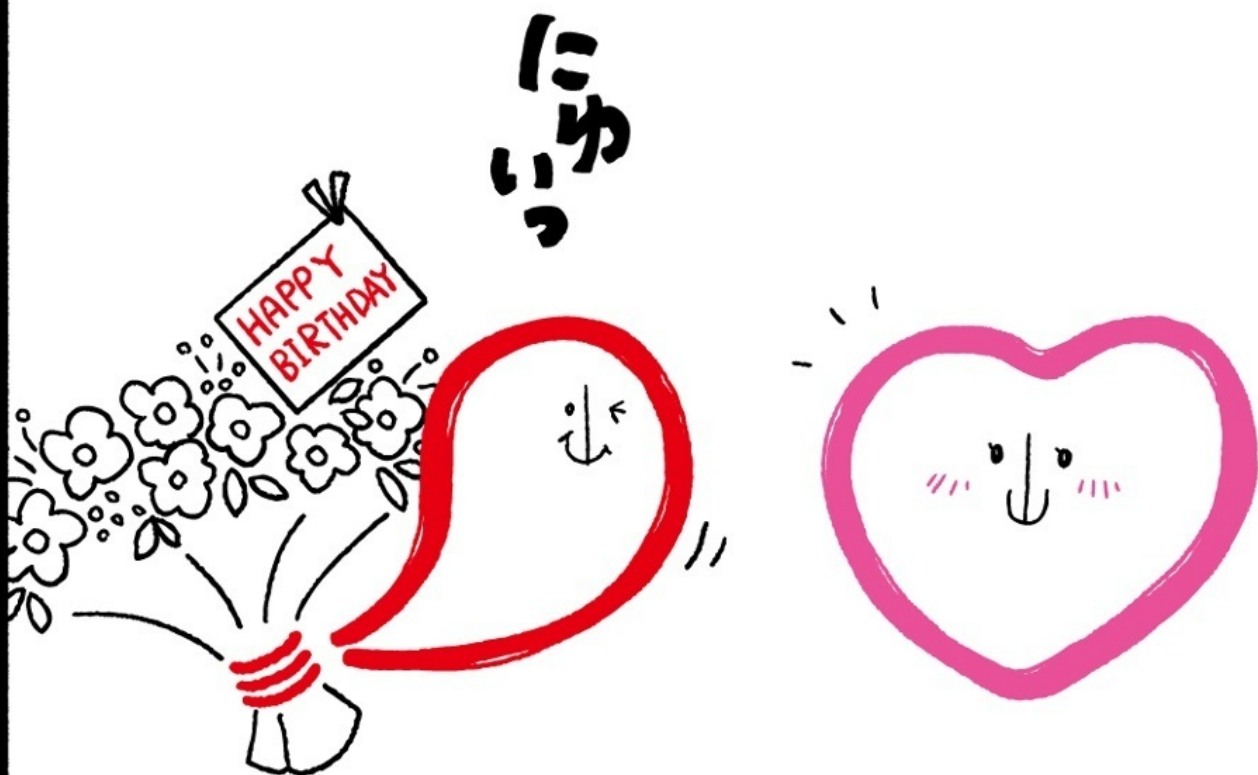
...

...

ハッピーバースデー！
ワミー！

ど
う
ぞ！





だい わ



ワットはべんきょうねっしん

まいど!
わごむくんです。

ふねにへんしんして
かわであそんでたら
ワットにあったで。

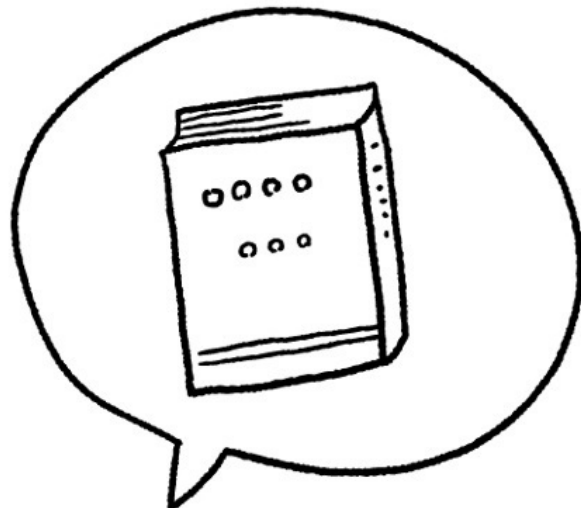


か
あ



「やあ、わごむくん。
かわのむこうの
としょかんへほんを
かりにいくんだよ。」

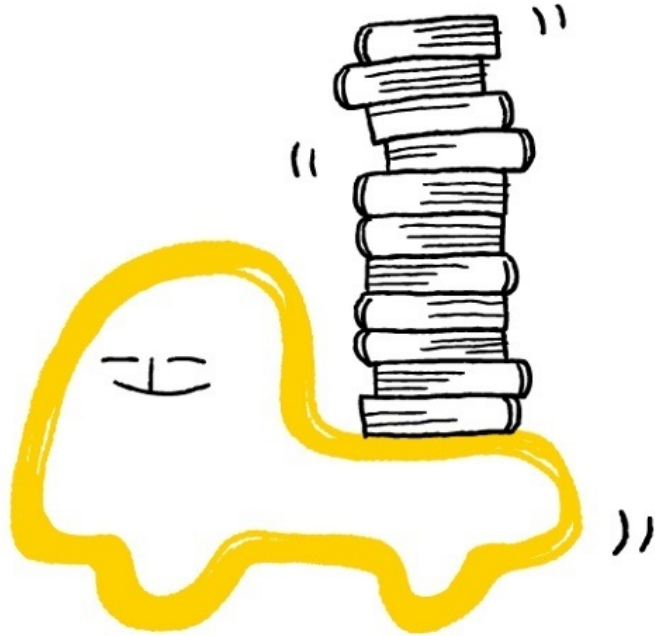
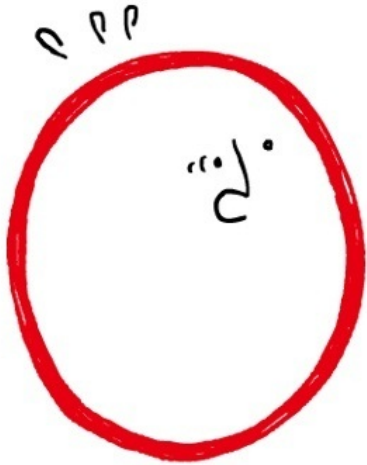
「ほな、おれもいくわ。」



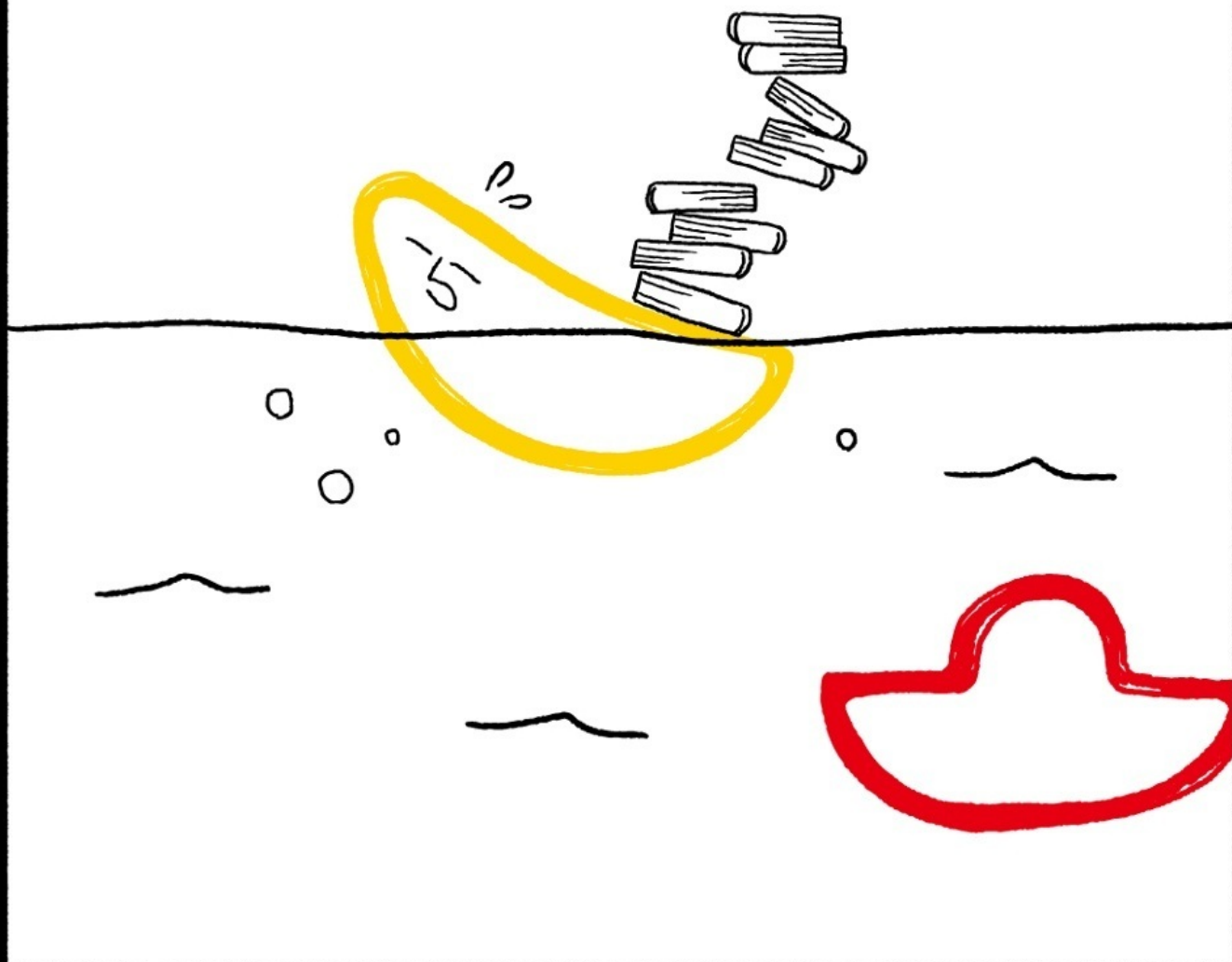


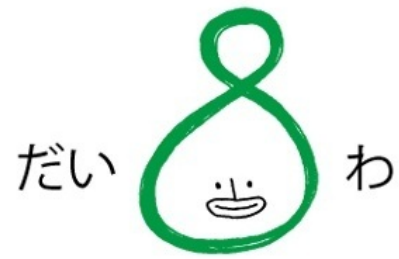
「おまたせ。」

「ええ!?
そんなにかりるんかいな!
ワットはほんまに
べんきょうねっしんやな」



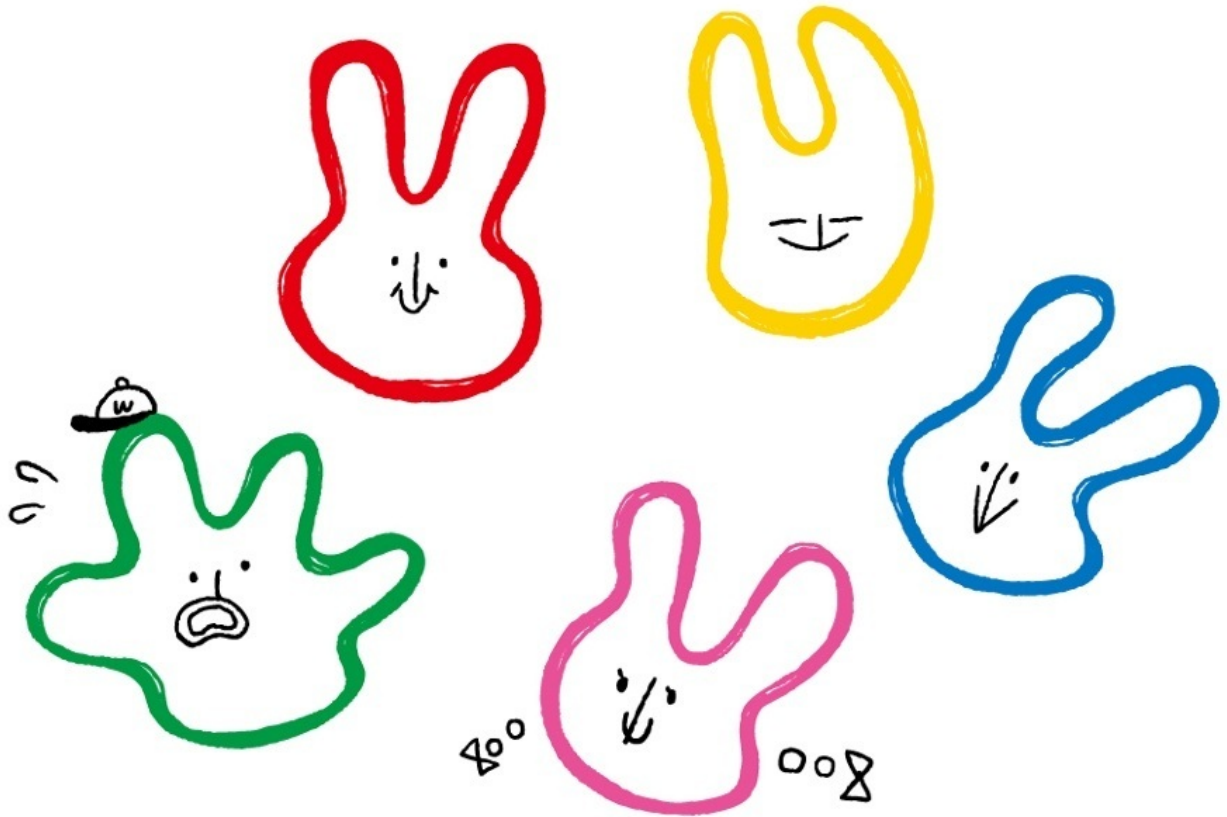
ま、そらそうやわな。



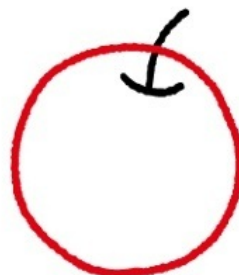
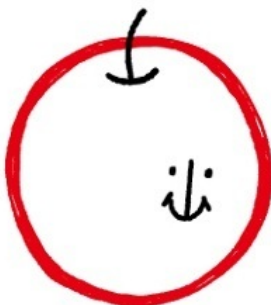
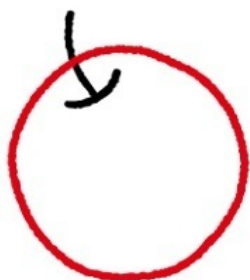


くいしんぼうのワブー

まいど!
わごむくんです。
きょうはみんなでかくれんぼ。

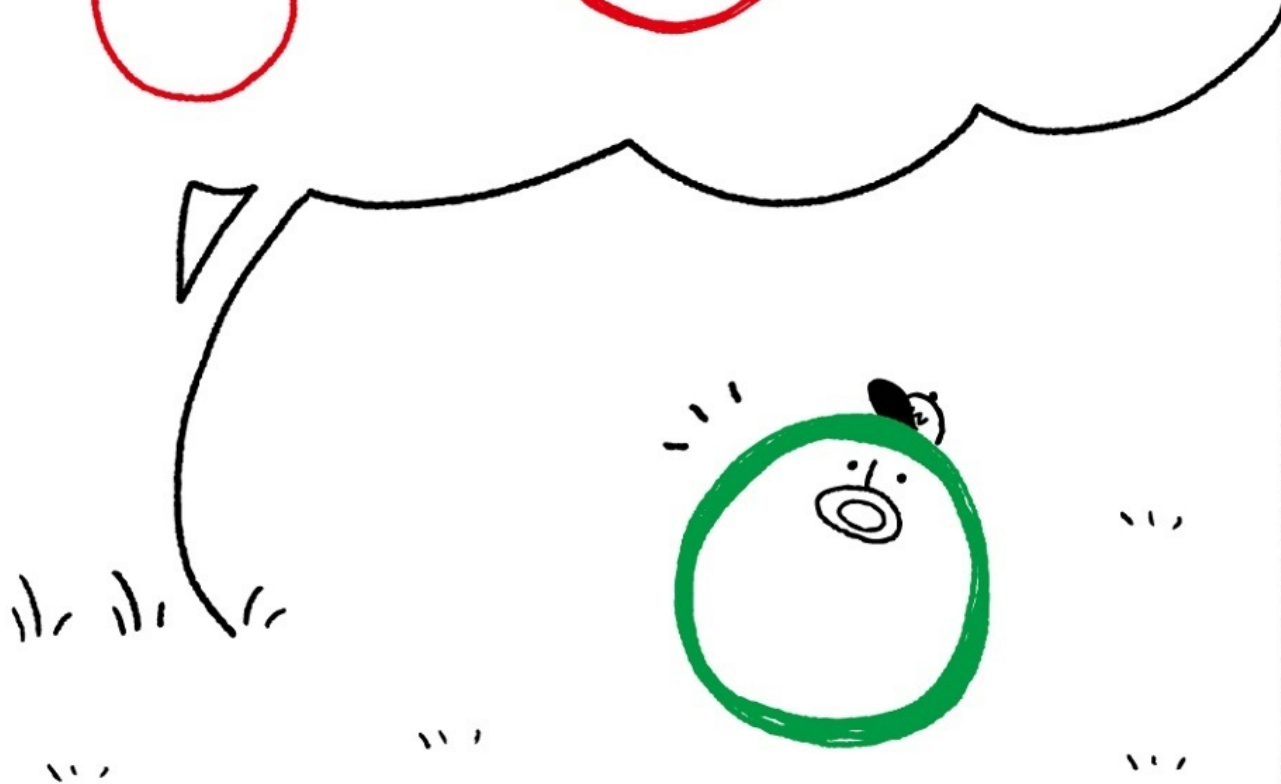
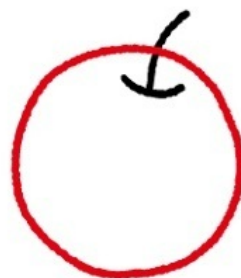
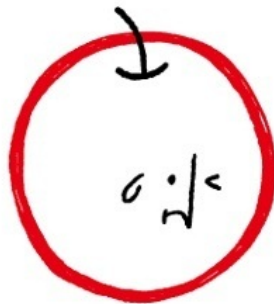
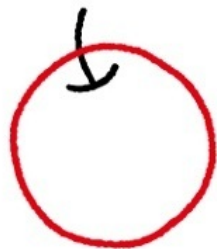


よしよし、
りんごになって
かくれるで。



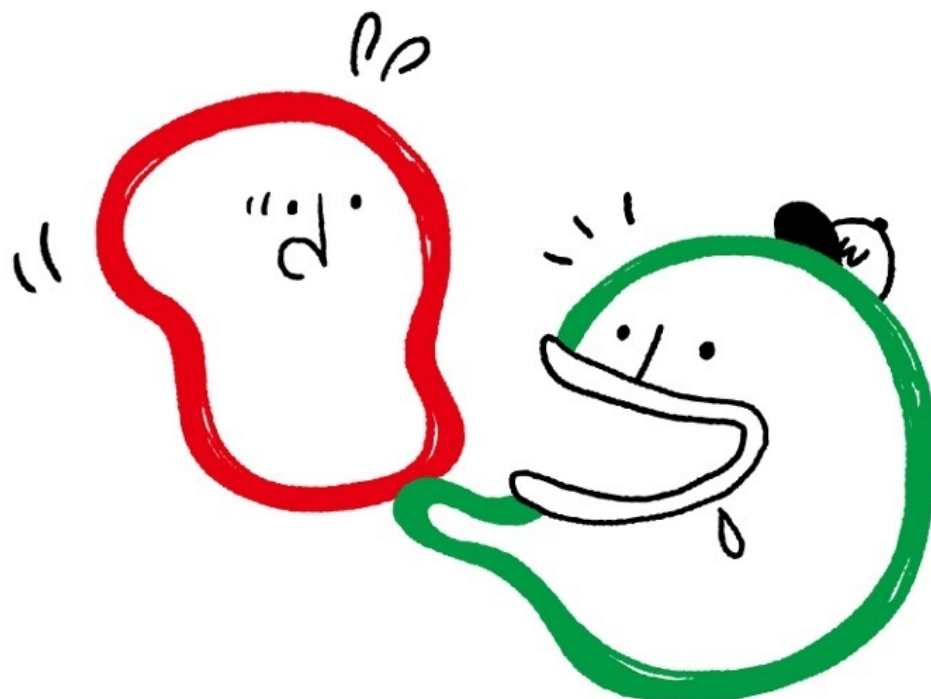
もーいーかーい

やばい!
みつかったか!?



わああ!
おれはりんごちゃうでー!

ワブーのくいしんぼう!

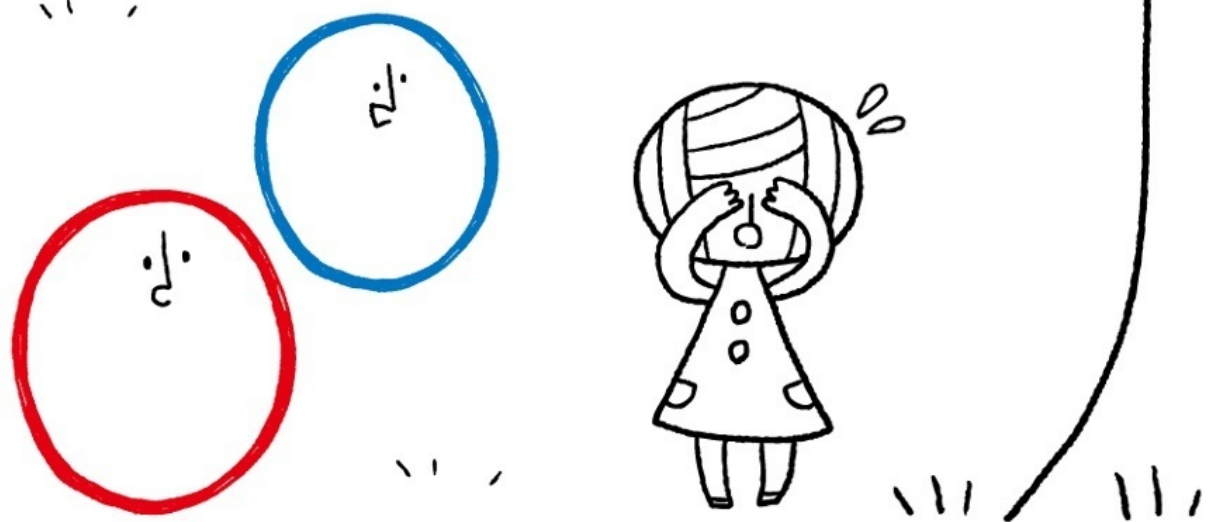


だい  わ

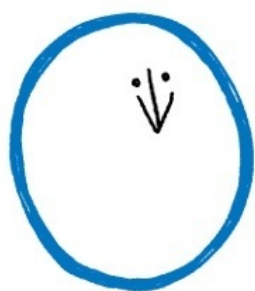
ワゴローのしっぱい

あー
ボールがきに
ひっかかったんか。

よっしゃまかしとき。



おお!
さすがにいちやんや。

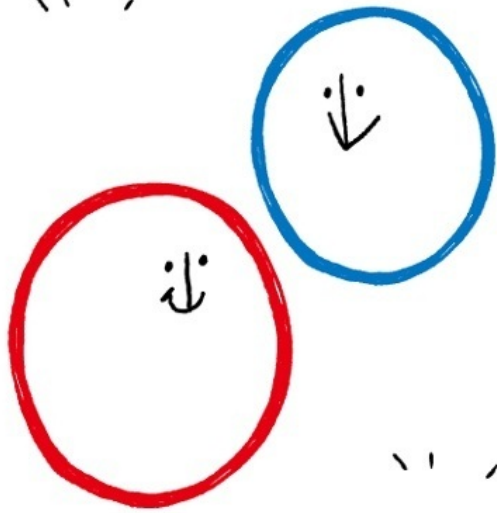


ぽんぽん

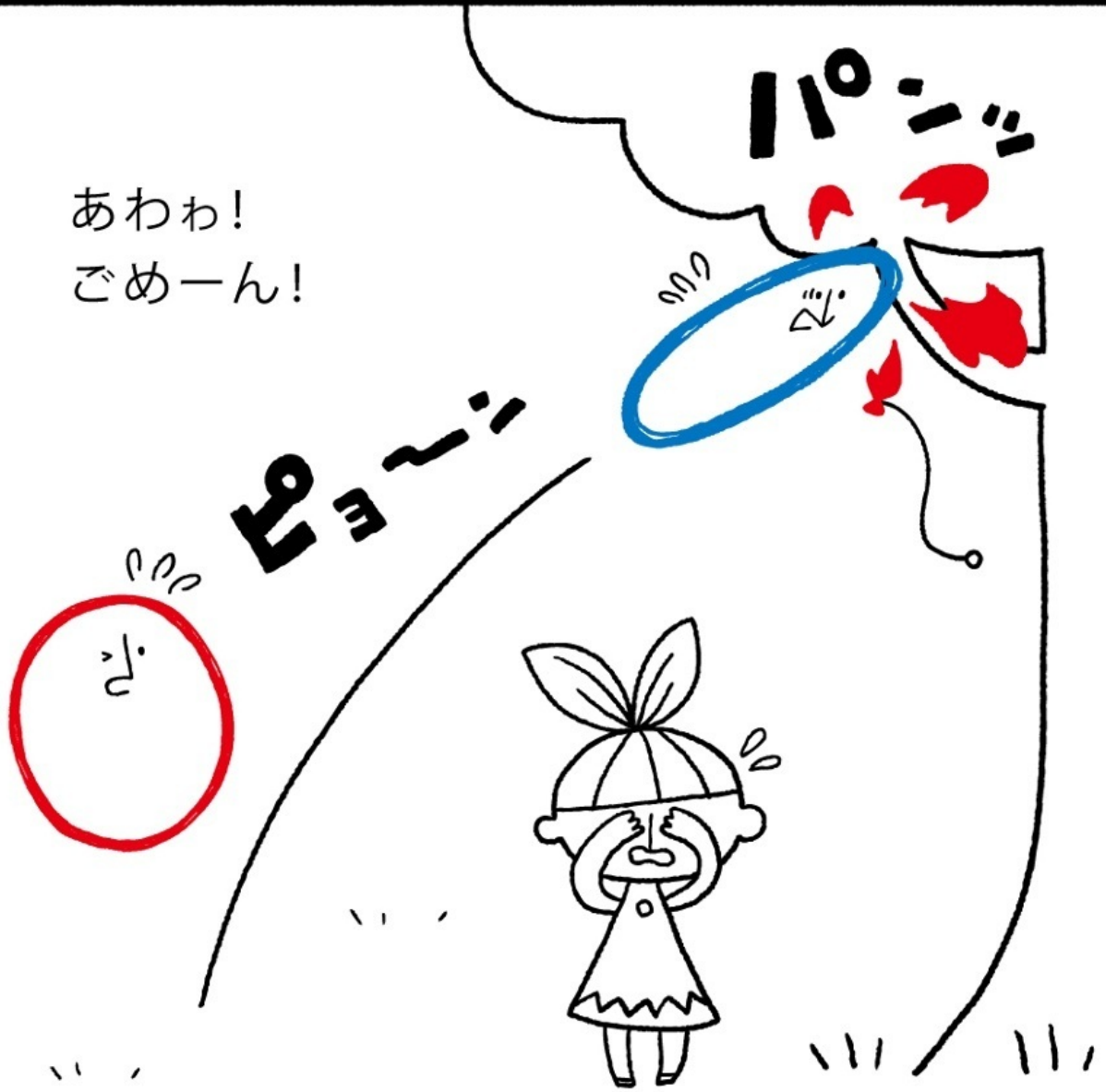
「ありがとう!」



お!
にいちゃん、
こんどはボクに
まかして!



あわわ!
ごめん!

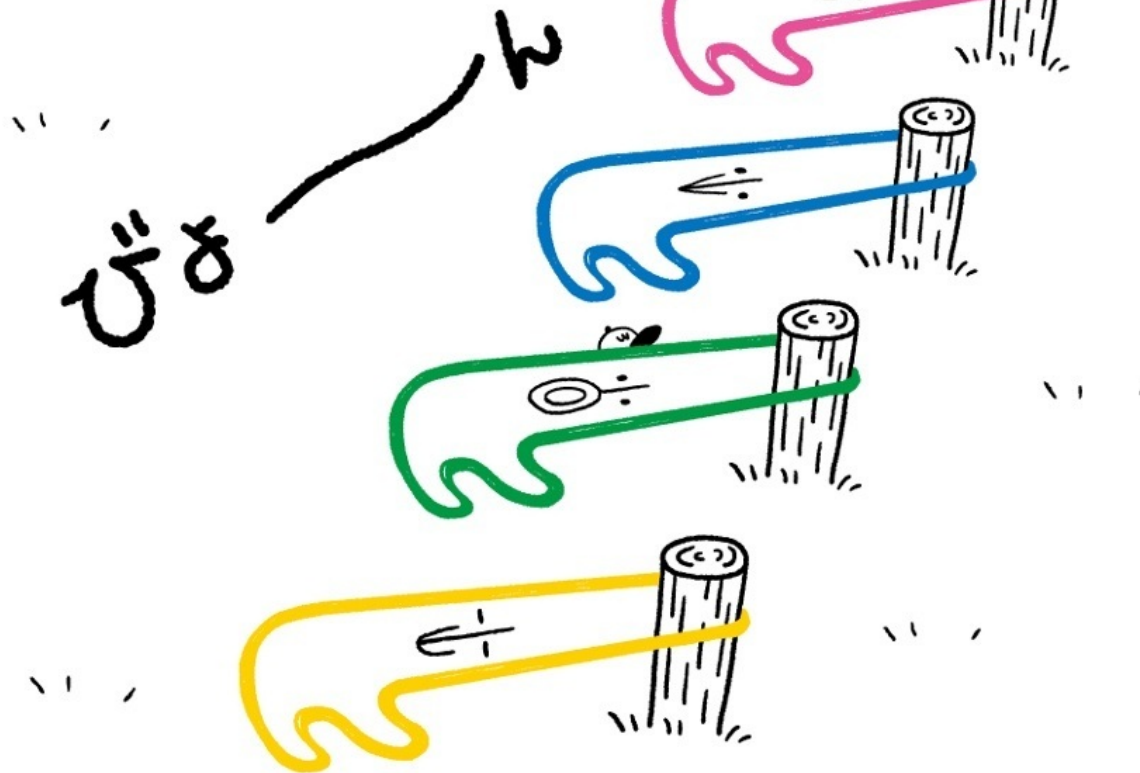


だい じ りん わ

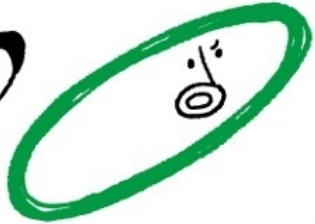
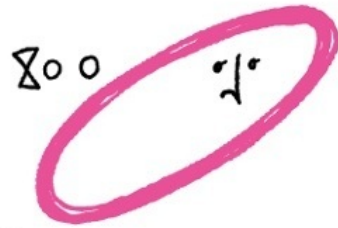
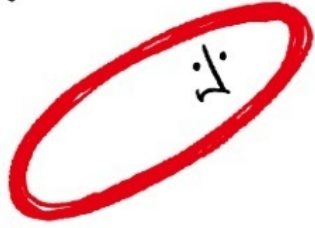
みんなできょうそう

だれがいちばんとおくまで
とべるかきょうそうやで。

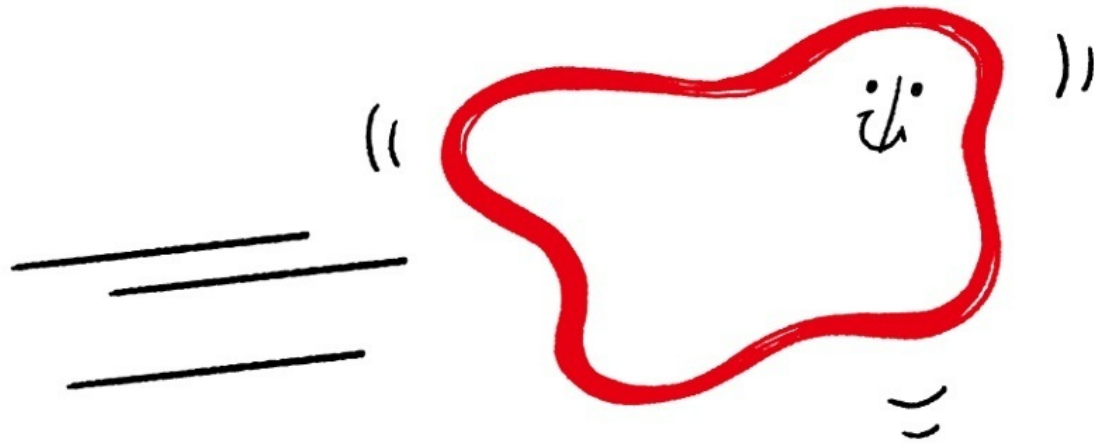
ほないくでー。



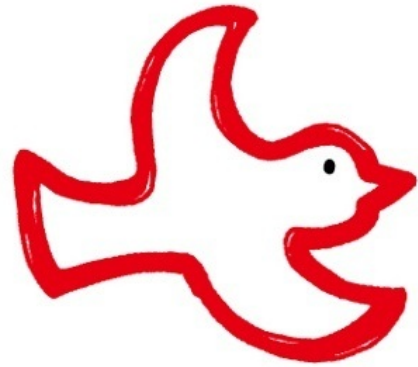
Σ 3 2 1



うにゅん



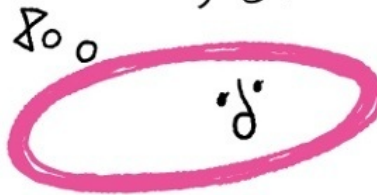
ピューーン



あ!ずるい!



ずるいわ!

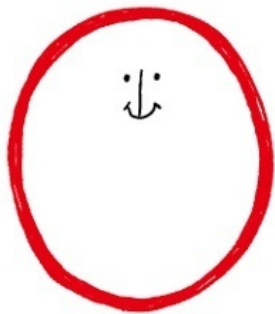


ずるいぞ!



ずるいなあ!





ぜんぶよんでくれて、ほんまおおきに。
おもろかった？
おれのほーむページもみてな。
ほなみなさん、さよ **おなら**。

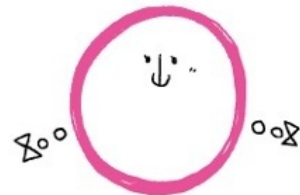
みんなはだれがすきかな？ キャラクターしょうかい



わごむくん
いつもまえむきな
にんきもの。
かんさいべん。



ワゴロー
わごむくんのおとうと。
ひかえめだけど
がんばりやさん。



ワミー
やさしくてかわいい
にんきもの。

ワプー
やきゅうと
おやつが
だいすき。



ワット
ものしりでべんきょうか。
ほんをよむときは
めがねをかける。



へんしん わごむくん (新装版)

<http://p.booklog.jp/book/31782>

著者：小坂タイチ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/wagomukun/profile>

ホームページ：<http://wagomukun.jp>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/31782>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/31782>

【ePubファイルをiPad・iPhoneで開くと音声朗読を聞くことができます！】

くわしくはこちら→<http://info.booklog.jp/?eid=397>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ

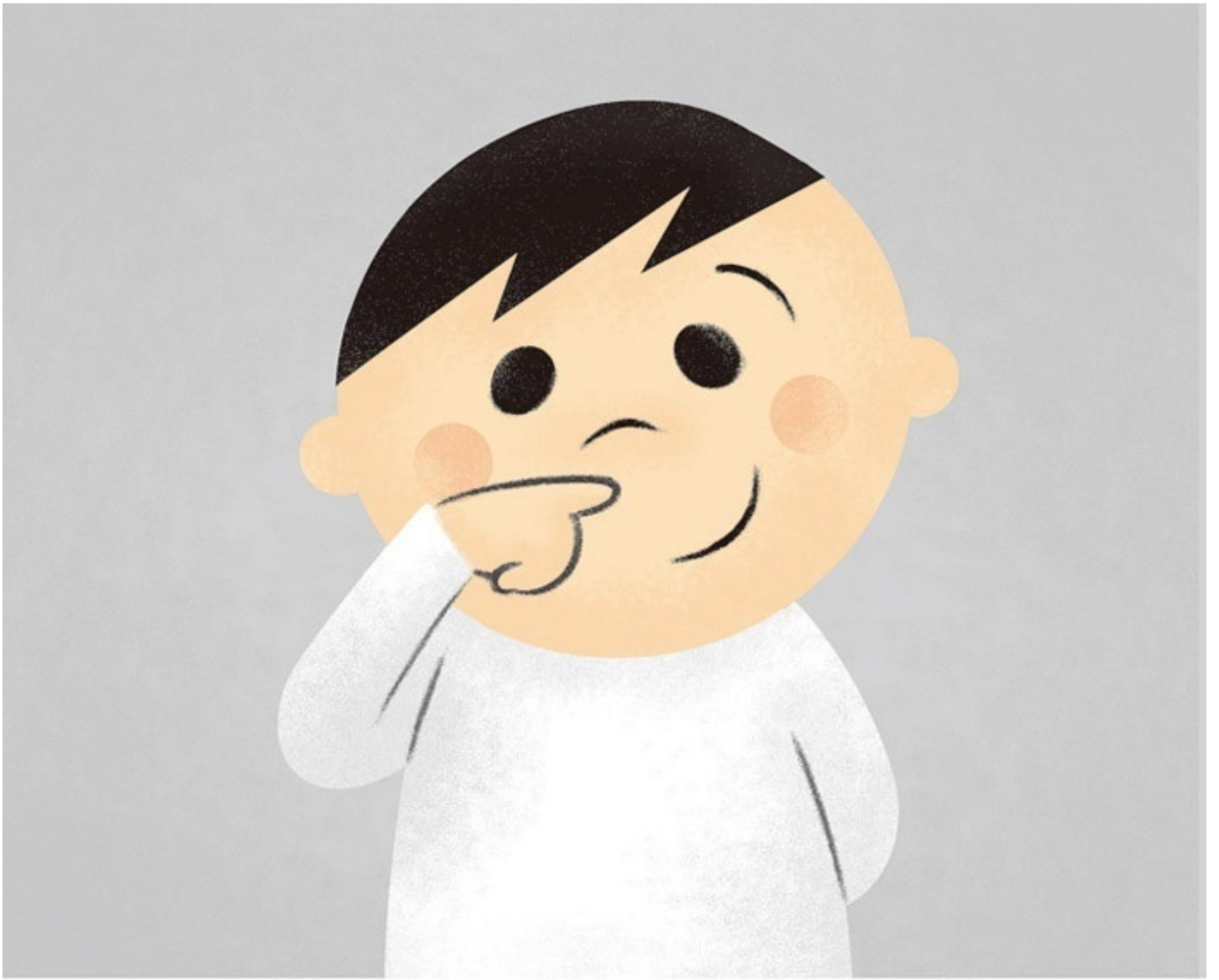
それっ!

I can be whatever I want

へんしんた!

さく・え
はらだ ゆうや





へへへ ぼくは なんでも なれちゃうよ

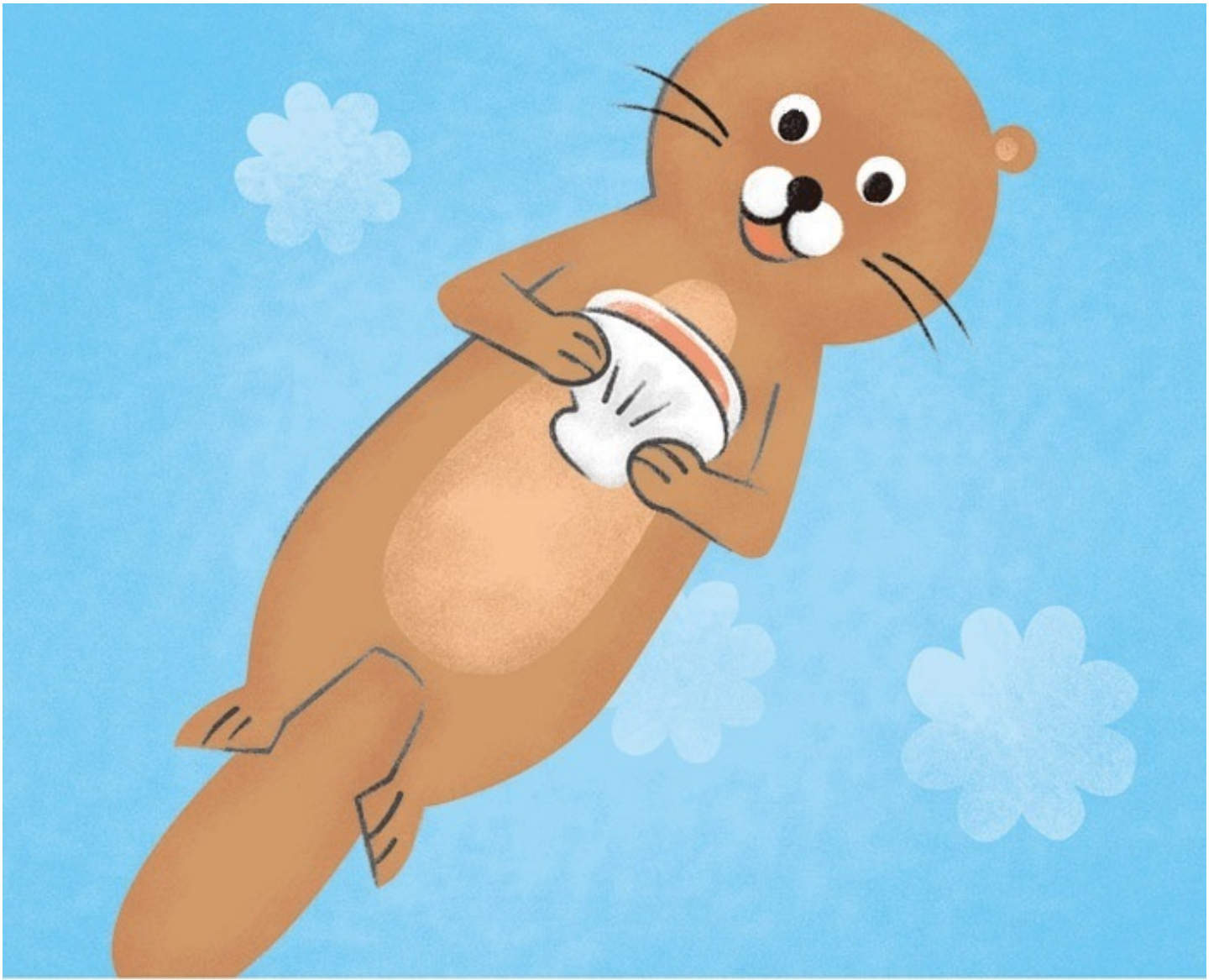


それっ! へんしんだ! ポワワワ〜ン



ゴロンとまるまる だんごむし





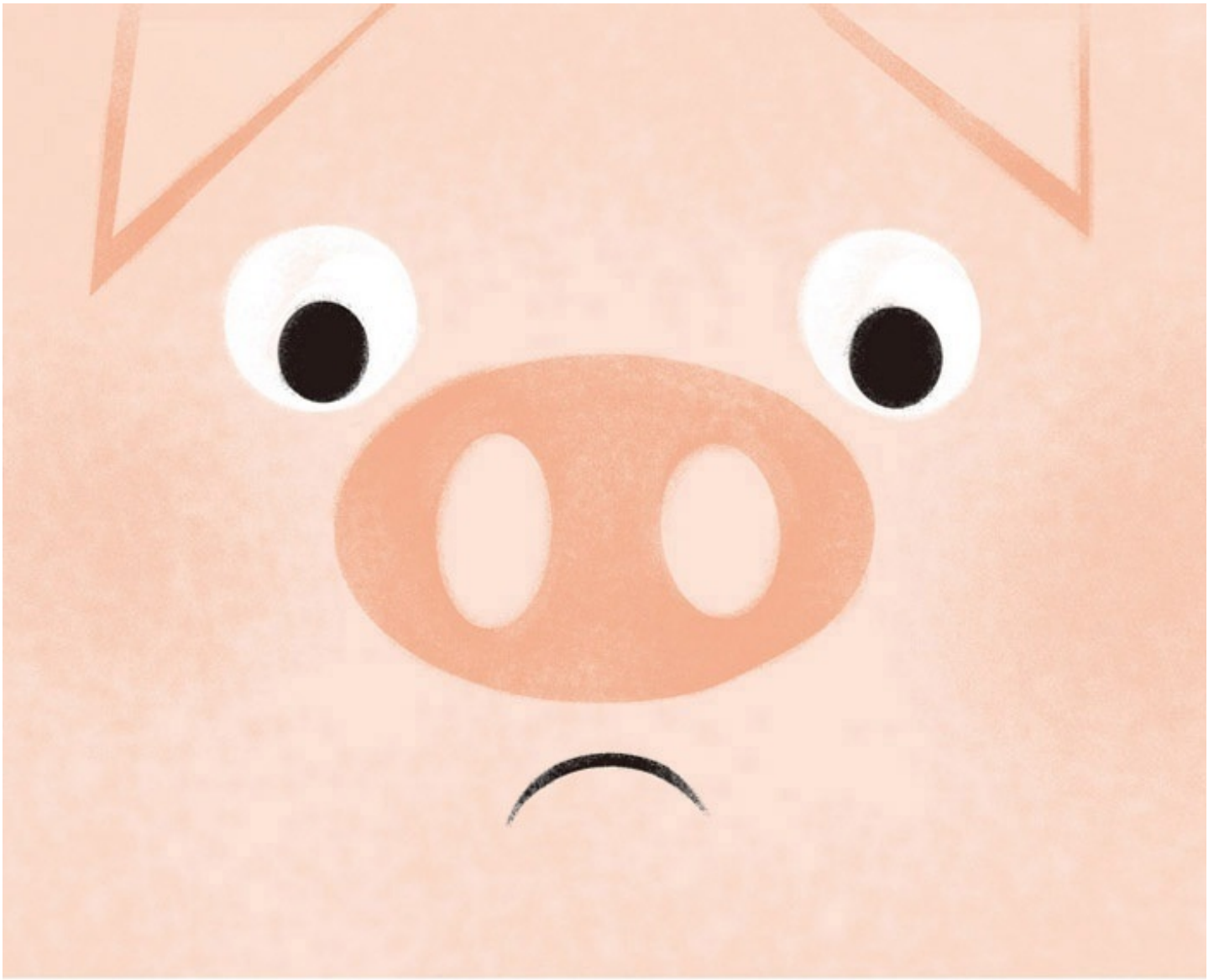
かいがら カチ カチ カスタネット



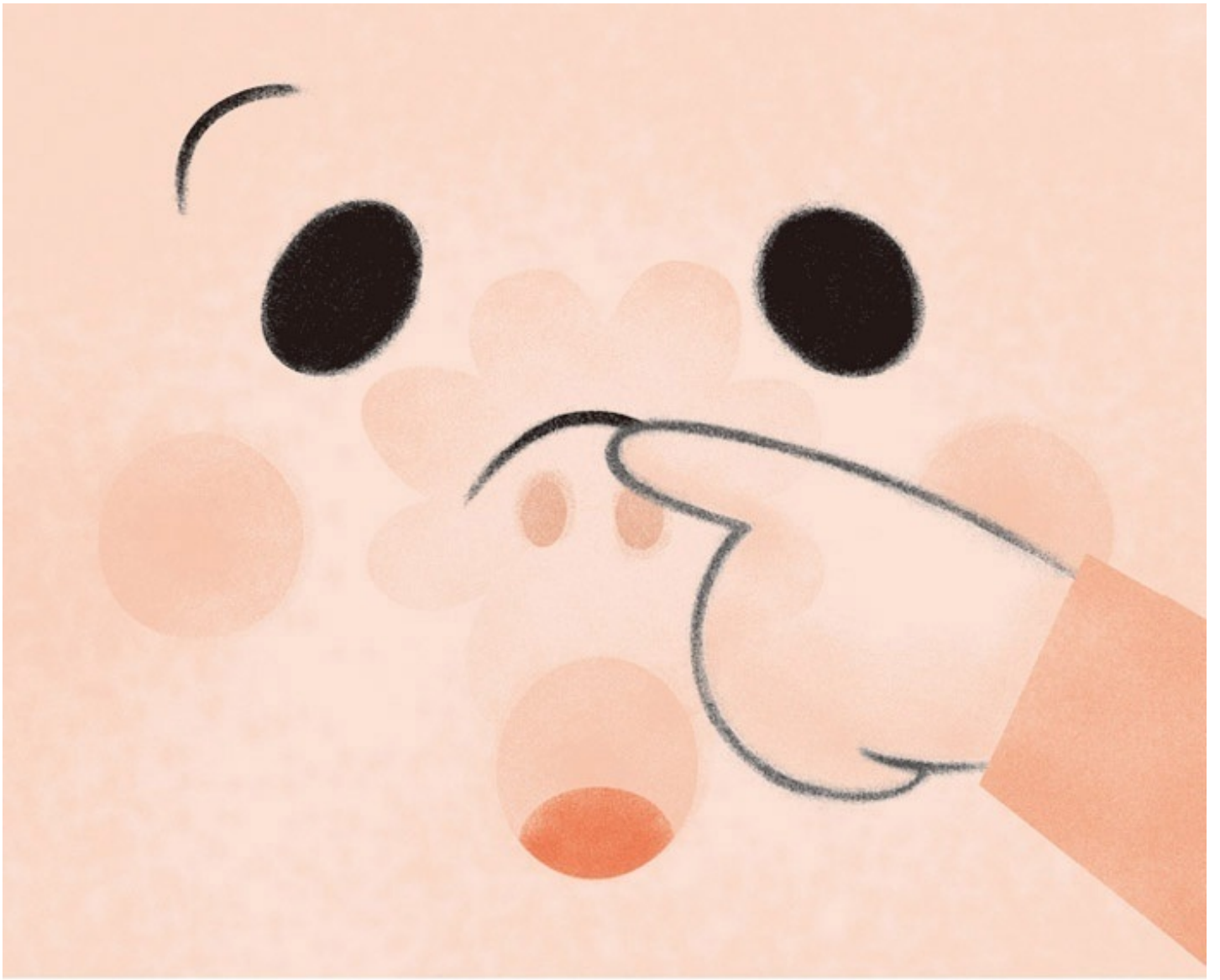


ガオー しましま おそろいさ





はなをならして ブー! ブー! ブー!





おととと あぶない! おっこちる





あせをながすの きもちいい!!





いっぱいあそんだ おやすみニャさい!





おしまい

それっ！へんしんだ！

<http://p.booklog.jp/book/38379>

さいごまでよんでくださってありがとうございます。

著者：はらだ ゆうや

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/harachang/profile>

著者ホームページ：<http://www.yuyah.net>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/38379>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/38379>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ

だから、

人生って

おもい3い



田舞了二

想像力の余地。

その気持ちがあるだけで、どれほど世界が美しくなるか。16歳の私が見つけた、アン・シャーリーの言葉に幾つも散りばめられた、自分の世界を輝かせるヒント。

私が赤毛のアンに出逢ったのは、という、いかにもらしく語り始めるためには、16歳を通り越して9歳まで遡らなくちゃいけない。何故って、私が初めて赤毛のアンに出逢った時、アンは文ではなく絵で語りかけてきたのだから。あのキャンディ・キャンディで有名ながらしゆみこ先生が描いた赤毛のアンが小学校の図書室に置いてあって、図書室に度々行くも、読むものは料理本か伝記（それも漫画）だった私は、必然的にそれを手に取ることになった。漫画は、赤毛のアンが3巻と、アン青春、愛情、と並んでいて、そのどれもを何度も読み返したのが印象深く残っている。あのキラキラした瞳のギルバート・ブライスに、9歳の私はどれだけときめいたか。アンと愛情のラストで描かれるキスシーンが忘れられない（後に私はこの漫画をネットで購入する）。

優しいタッチで描かれたアンは、漫画大好き少女の私の胸を躍らせるのに十分だった。けれど当時は小説を読むまでには至らず、その後16になるまでほとんど思い出すこともなく、アンは私の胸の中にしまわれていた（こそこそ）。

それがどうしたものか、高校に入ると私は突然読書に目覚め、それも翻訳本に心奪われるようになる。そこで再び、赤毛のアンと再会したのだ。

「そういえばあの絵、可愛かったなあ」半ば懐かしさから手にとった一冊。アンはシリーズもので、すべて読もうとすると分厚い文庫本10冊はあったのだけれど、手に取ること何の躊躇いもなかった。

冒頭は想像通り。何度も読んだあの絵が頭の中で浮かび上がった。だがページをめくればめくるほど、私の想像を遙かに超えた新たな「アン」が表れ、私はあつという間に赤毛のアンの世界に引き込まれてしまった。どうして、どうして、こんなに面白いの！すぐさま続きを購入。

何故、こんなにもアンに心惹かれたのか。それは漫画では描かれなかったキラキラ輝くアン・シャーリーが文庫本の中でびよびよん飛び跳ねていたから。それはもうわかりやすく、私にメッセージを送っていた。吊りスカートの制服を来て、日々想像力の余地なんてない世界で生きていた私（16歳でこうも青春と離れたところにいた私って...）にとって、アンのおしゃべりな口と、世界を美しくする言葉は、心を弾ませる一種の魔法だった。

「どんなことでもその気になりさえすれば楽しめるものだって、今までの経験から分かっているのよ」孤児院に送り返されることになった朝、アンがマリラに言った言葉。アンは、どうせなら目いっぱい楽しんでやろう！と心に決めたのだ。アンの前向きな思いは、マリラの心を動かすには十分だった。グリーンゲイブルズに身を置くことになったあとも、アンは様々な場面で、平凡で、時に辛く、時に美しい毎日を、自らキラキラと輝かせていた。

「想像力の広がる余地がいっぱいよ！」「なにも期待しないより、期待して失望したほうが、遙かにましよ」「今日のわたしは、会った人を片っ端から好きになってしまいそうな気分よ」

足が折れた時もアンは「わたしが想像力に恵まれていてよかったと思わない？動けないあいだ、ずいぶん助かるんじゃないかしら。想像力がない人が骨を折ったらどうするのかしらね、マリラ？」って。どれだけ前向きなんだろう、この子。と、読んでいて思わず笑みがこぼれてしまっただけ。

自然に対するアンを感じ方。間違いは素直に反省し、自分の心そのままに進んでいく。アンに出逢ってから、私は世界が前より少し、煌めいて見えるようになった。

季節の匂いが前よりわかるようになったし、ご飯はさらに美味しく、友人との楽しい会話も人生を輝かせる大切な一時であるということを知った。当たり前毎日が「今日はいつもよりずっと素敵！」と思うだけで、どれだけ今日が新鮮になることか。

失敗をしても「明日という日がまだなんの失敗もしていない新しい日だと思うと、ほっとするわね」と、アンは心はすでに明日へ向かっている。赤毛のアンを読み返す度、私はアンに励まされ、安心して眠りにつくことができた。

たった一人の、どこにでも居そうな女の子が教えてくれた想像力の余地。

だから今日も、心の中にあるアンとこっそり会話をしながら、まだなんの失敗もない、新しい一日を始める。

「ひとつ達成すると、その先のもっと高いところに、また別の望みが輝いているの。だから人生っておもしろいのね」

そう、だから、人生っておもしろい。

パブー電子書籍コレクション2012

<http://p.booklog.jp/book/51711>

著者：パブー

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/puboo/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/51711>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/51711>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ